新眞婦人

七月號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上

學力尋常小學卒業以上

品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察 月、水、木、金、午前

入院診後應需

林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電話本局 八八八八（病院用） 八九八（自宅用）

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

東洋内科醫院

院長 醫學士高田畊安

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里

電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤

院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宮内省御用達

世界到る所の
新らしい女
が嗜用する

TRADE MARK

ヒゲタ印醤油

ヒゲタ印醤油

ヒゲタ印醤油醸造元

千葉縣銚子港
田中玄蕃
電話銚子十四番
振替東京百十九番

新眞婦人第三號

口繪

宣言

婦人問題の中心點　西川文子

林のさゝやき　柏女

夫の不品行を苦にせる御婦人方へ　高島平三郎

之れからの婦人　記者

一、强い女

二、婦人の實力　安部磯雄

三、潰しのきく婦人　藤生てい子

他山の石

我國の新しい女△新眞婦人會の長所短所△新婦人、舊婦人△實質實力△新佛教△新眞婦人の内容を論ず△婦人の自ら省みるべきこと△自覺せる新女德の價値△家庭の園藝

聖ニコライ號の船上にて

トルストイ翁を見し記　瀨沼夏葉譯

オリブ・シユライネル女

史著『婦人と勞働』を讀む　高野重三

目次（七月一日發行）

談話室

婦人と大志（花村女史）△孝經にありますか（高野重三氏談）△存外單純ですれ（一記者）△小供が好きで（池田燕園女史談）△迷信かも知れぬ（尾竹一技女史談）

新しい老人　記者
一、矢島楫子さん
二、森村市左衛門さん

日本女性史（三）　新眞婦人社編

花　メーテルリンク

をかしけれ　小口みち子

座古愛子姉の事ども　安達生

偶感　ふみ

婦人も活動的でありたい　吉川たつ子

理容館訪問記　一記者

募集文藝（和歌—俳句）

編輯だより

婦人問題研究會

東西南北（高島圓氏より△寛潮氏より△野村氏より△森村市左衛門氏より△中島孤松氏より△坂本正雄氏より△宇多路氏より△宮田修氏より）

新刊紹介（肩ある窓にて△近時の婦人問題其他）

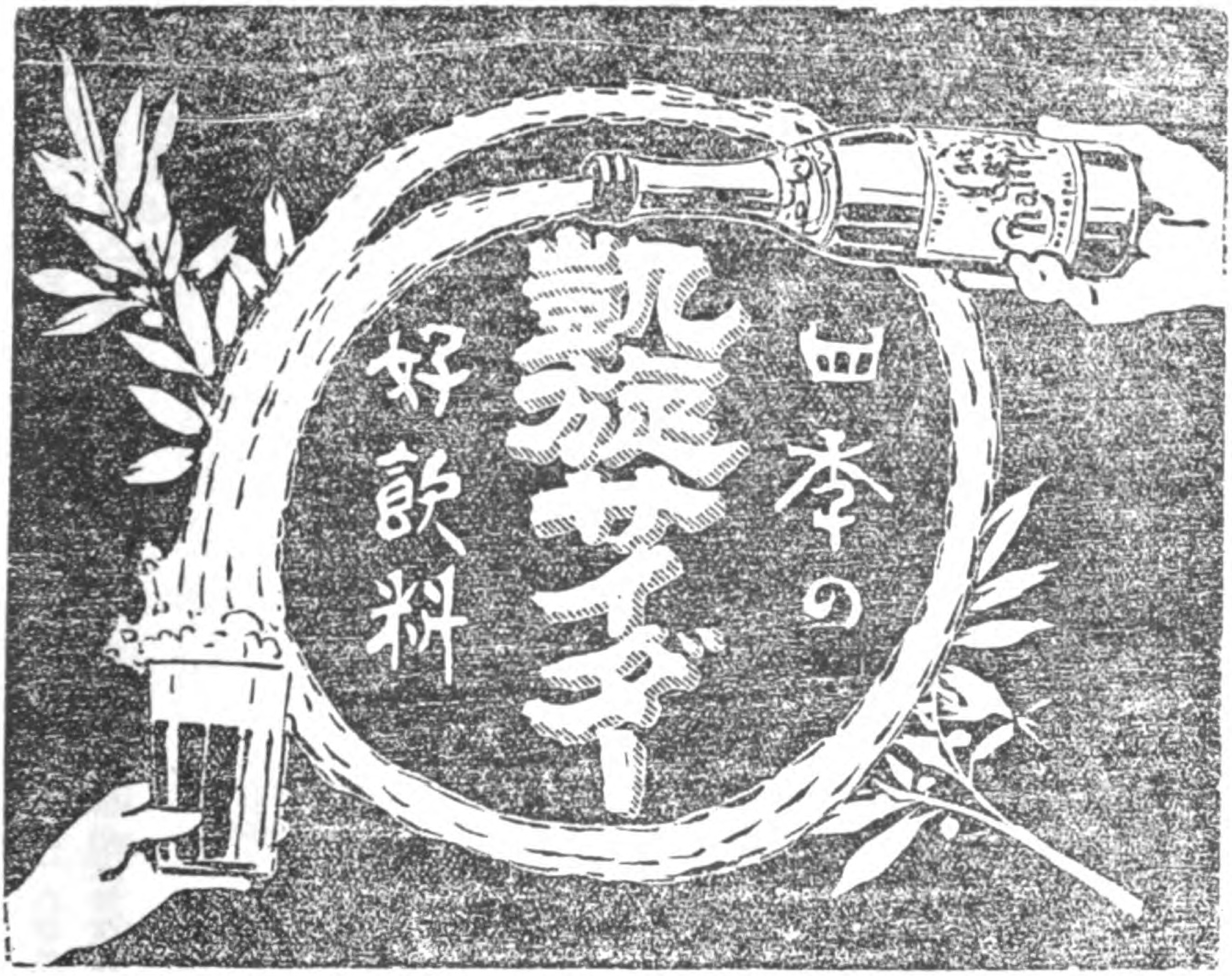
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中元用好贈答品

壹等賞金牌受領

第一回 第二回 第三回

全國清涼飲料水品評會に於て

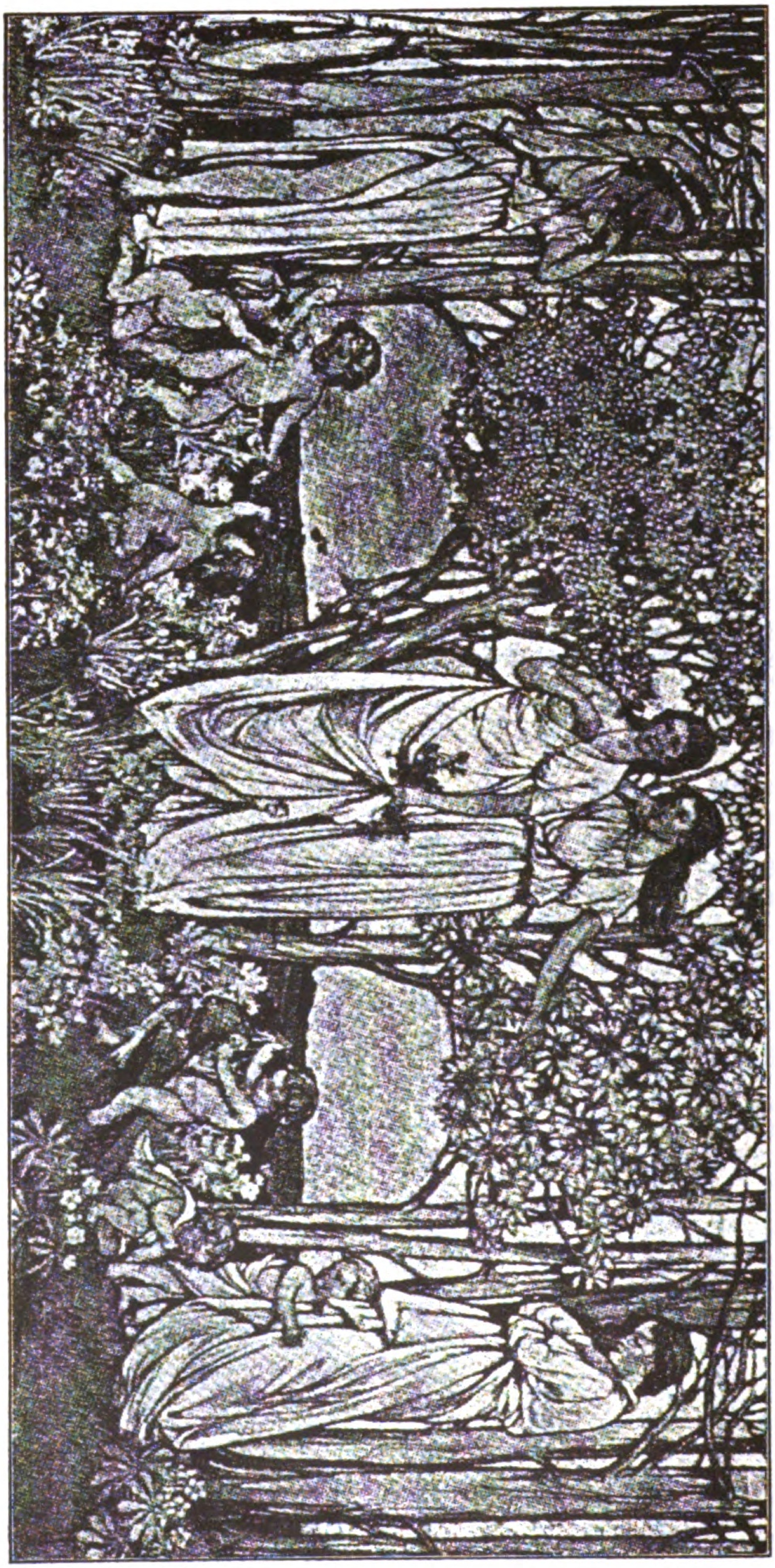


宮內省御用達

日本製氷株式會社製造

電話特長京橋五九二番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人　第三號

宣言

△私たち銘々の心の奥底には、尊い眞な活きた者があります、この無限の潜在力を何處までも發揮しやうと努力しますのが、新らしい眞の婦人の生活であります。

△私たちは斯ういふ精神で努力すると共に、また他の御婦人がたへも御勸め申したいので、此の雜誌を發行することに致しました。

△詳しく申しますると、新藝術、新道徳、新信念を發見し、開拓しまして、玆に新らしい人生を創建するのであります。

△それでありますから將來の新藝術は、信念上の努力の表現でなければならぬ事を宣明します。

△要するに、私たちは無限の潜在力を啓發しまして、有史以來、未だ曾て認めなかつた新らしい女性の人格をも、成就しやうと努力するものであります。

△其の立場から見て、結婚問題、離婚問題、家庭問題、其他婦人に關する一切の問題を、研究し、論議し、更に歐米に於ける婦人問題に關する論議に就ても充分研究して、之れを何の位の程度まで、我國の婦人に適用すべきであるかと云ふことも知りたい、之れも本誌の目的の一であります。

△又社中同人及び社友諸姉の創作もオイ〳〵發表し、紙數の如きも、本社事業の發展に伴ひ、次第に増加する考へであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人問題の中心點

西川文子

一 婦人問題の範圍

一口に婦人問題と云つて仕舞へば、何にかコウ單純な問題の樣であるが、ソウではありません、婦人問題の中には、大別して左の五問題が含まれて居るのです。

第一 職業の問題
第二 教育の問題
第三 權利の問題
第四 結婚の問題
第五 賣淫の問題

第一の職業問題丈けでも、諸種の發明を原因として起つた經濟上の變動が、從來家庭でして居た女の仕事の多くを、家庭外の工場などですることにして了つたので、自然女子も外に出て働かなければならぬことになつたソコで職業の自由と云ふ聲が叫ばれ女子が男子の從來獨占して居た事業の中へも這入つて行く樣になつたと云ふ事より筆を起し、次に同じ仕事をして同じ成績が見えれば、男女に係はらず同じ賃銀を與へよと云ふ聲の叫ばれ出したことを書き、更に經濟方面に於ける女子の發展が男女平等論を有力ならしむるに至つたことを書けば、隨分長いものになります。

第二の教育問題も同樣で、筆を女子教育の發達に起し、其結果女子を自覺せしむることになつた所以を説明し、次に自覺の結果結婚を忌む婦人の增へたことを述べ、進んで此の結婚を忌む感情を論評する事になれば、隨分長いものになります。

第三の權利問題も同樣で、經濟方面に於ける女子の發展と、女子の自覺とが元で、女子と政治、女子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と法律などと云ふ喧ましい問題も起つて來ました。之れを詳細に論ずると却々長いものになります。

第四の結婚問題は殊に複雑で、此の中に慈愛の自由だの、離婚の自由だの、乃至は男子の貞操問題などが含まれて居ます。

第五の賣淫問題も、之れ丈け調べるに、一生が長が過ぎない程であります。

二　婦人問題の中心點

斯く婦人問題の範圍は廣いが、さて其の中心點は何所にあるのであらうか。

何人も自己より出立せなくてはならぬと云ひますから、婦人も元より自己より出立せねばならぬ。されば婦人問題の中心點は云ふまでもなく、婦人自からの自覺、實力の養成にあらればならぬ。而して此の婦人の自覺が何れの方向へ進んで行くかと云ふに、ソレは男子の貞操問題に向てでなくてはならぬと思ひます。女性の眞の幸福は、男子が貞操を重ずるに至るまでは、來たらぬものと確信します。

三　男子中心の思想

所で男子が貞操を重ずるに至ると云ふことは、男子中心の思想が毀れねば駄目です、ソコで男子中心の思想に就て、少しく述べねばならぬことになつて來ました。

今より百五十年前に、英國に於ける婦人運動の初聲者とも云ふべきメリー・ウォルストン・クラフト夫人は

余は婦人が男子の上に權力を有することを願はずして、女子自から權力を有せんことを願ふ。

と云ふて居ます。其後婦人問題を論議した婦人は揃ひも揃ふて、何れも同樣のことを繰り返して居る。有名なエレン・ケイ女史も、其の近著の中で

女と男と、平等に立ちて、手を携へて働く樣になるまでは、婦人運動は過去に屬せぬ

と云ふて居ます。

斯く婦人は百五十年間も、始終一貫、其の望む所を告白して來て居るのに、男子は未だに夫れをホン

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

トにはヤウ了解して居らぬらしい。何せコウ觀察するかと云ふに、醒めたる婦人を咀ふの聲或は婦人運動を侮辱したる漫畫なり、文章なりを、至る所で目にし耳にするからであります。

△明治十八九年、女權論の喧ましかつた頃、女權と云へば女が男をお尻にするもの、樣に思れたものぢやソウであるが、此頃も多少意匠は違へど大體に於てソンナ意味の漫畫を能く目にする。

△近刊の新公論に『新しい女の理想的家庭』と云ふ戲文か出て居て其の中に『ちよいと貴郎、早く襁褓を洗はないと今に降出しますよ。オイきた、オイなんて誰に對して云ふ言葉なのです？　いけ存在な、貴郎は未だ明治時代の夢を見ゐらつしやるんだ！』と書いてある。戲文には相違ないが、之れと大同小異の戲文を一二ならず見るから、此の中に多くの男子の本音もあると信ずる。

男子がドウしても自覺を叫ぶ女の心持を了解することの出來ないのは、其の心の奧底に、自分等が長く女を壓制して來たから、若し女に權力を與へたら、過去に於て自分等が女にしたことを、女が男に對してするだらうとの心配があるからであらうと考ます。

コウ云ふと、笑談を餘り眞に受け過ぎると云ふ人があるかも知れぬが、ソウぢやない、戲文や漫畫に現はれてると同じ感情が、學者の言論の中にも現はれて居るではありませんか今日男子の科學者で、男子優秀說を辯護せぬものが殆んど無いと云ふ有樣ではありませんか。三宅雪嶺博士の樣な、物事の能く分つた方でさへ、『女の智慧は知れたものだ』などと云ふて居られるではありませんか。

ですから、私は男子には何所までも男子中心の思想があることを信じて疑ひませぬ。此の思想は勿論『人間が宇宙の中心であると云ふ思想』及び『地球が宇宙の中心であると云ふ思想』と同じ運命を追ふて、將來は必ずコワれる思想でしようが、今日の所ではまだ却々確に男子の心中に蟠つて居ると思ひます。

四

私は一日も早く男子中心の思想が毀れて、眞に男女が平等に立ち、共に手を携へて人生の戰ひを戰ふと云ふ時代の來らんとを希望して止ざるものです。

婦人の自覺が婦人問題の起源を爲すものであつて男子中心の思想の毀れることが、此の問題の終りであると考へます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

長詩

林のさゝやき

柏女

とこしへに恨めしき午後の日影よ
いたづらに物思はする林の影のまた黒く
地にぞ延びゆく城壁までと急ぎつゝ
あはれなつかしきリーカスよ
汝を立ち待ちしおもひで、我にはつらきおもひで、
なか〳〵に契りけることの葉の、
たゞよへるこゝちして、住みがての樹間よ、
永遠にかへり來ぬその日その時、

あはれ戀しきリーカスよ、
時まつほどのかけことに、忘れたるときのまよ、
千年もまちしそのときのまよ、
我も一たび人の世に生命うくべき宿因より、
汝が怠りの罪なくば、永遠に女性のすがた得て、
まみえむものを今はとて、呪ひのへだていかにせむ、
汝を迎への密蜂の、羽がひ傷めてかへり來し、
そのゆふぐれのかなしみよ、
さるにても忘れぬは、かひもなき林間に、
わがすがた求めて、去りがてに悔い泣きしおもかげ、
あはれ、悲しきリーカスよ、リーカスよ、リーカスよ、
われ永遠に失なへる女性のかたちこひしや。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫の不品行を苦にせる御婦人方に

高島平三郎

夫の不品行を苦にして居らるゝ御婦人方から、ドウすればよろしいでしようかと色々相談されますので、ソウ云ふ方々へ御參考までにと思ひ、本號から、此の問題に就ての諸名士の談話を掲載することに致しました。（記者）

（第一）

曾て福地櫻痴氏が、色々な人が色々なことを尋ねに來る、ソレに一一答へると云ふ風にした文章を書いたことがあるが、其中の一に、コンなのがあつた。

△先生　私は元藝者をしてました者ですが先程或旦那に受け出されて、今は其の別莊に圍はれて居るものです、けれども旦那がイヤでイヤでなりませぬので、嫌はれる樣に嫌はれる樣にと仕向け、髮も衣服もわざと亂し、時には喧嘩腰で罵詈までして見ますが、一寸もキヽメがありません、如何せば旦那に嫌はれる樣になるでしせうか、御敎へ下さい。

△ソレはお前の仕方が間違て居た、明日からはスッかり態度を改めて衣服をチヤント着、髮も奇麗に結ひ、旦那が來たら三ッ指で挨拶して、之れまでの不心得を詫び、旦那が何んと云つても、愈々眞面目になつて、經濟の話まで持ち出して見よ、キットだん〳〵來なくなるから……

△お妾は歸つて其の通りした、果して旦那はダンダン通はなくなつた……

こゝが微妙な所で、眞面目な妻君にはコヽの消息が分らぬから、ソレが家庭の圓滿に行かぬ一原因となるのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私は何にも妻君方に向て、夫の不品行を寛恕せよと、おス丶メするのではないが、夫が新聞記者とか、會社員とか、其他多忙な職業に就事して居るものであつて見ると、人間は二六時中氣を張つてばかり居れるものでないから、何所かで緩みを欲する、人間にプレー（遊戯）が必要ぢやと云ふのはそこです。然かるに夫が疲れて歸つて來た時に、妻君たるものがソコの消息を知らないで、いきなり不平を云つたり、臺所の經濟話をしたりすると、ソレが夫に不快の念を與ふるの原因となるのです。

モウ今から二十四五年も前のことですが、一人敎育ある女で、或工學士と結婚したものがあつた。女は夫に對して非常に忠實で、辨當の副食物のことなど前夜から心配し、午後夫が歸つて來ると、第一番に今日のお辨當の副食物はドウでしたと聞く程であつた、妻君の方では私がコレ程にして上るのだから、夫も定めて悅こんで居て吳れようと思ふて居た。所が或日の午後、例の如く夫の歸りを迎へて、又もや第一にお辨當のことを云ふと、之れはしたり、夫はイキなり妻君の頭を叩いた。妻君は驚いて怒つた、私が之れ程までにして居るのに一言の言葉もなくイキなり毆つとは何事であります。男と云ふものは我儘なものである自分はモウ一生夫は持たぬと決心し、離緣を請求して生家に歸り、奮然志を立て米國に渡り、苦學數年女醫者となつて歸國した。歸國して後は家に一人の婆さんを置きて炊事を擔任さし自分は或病院に出勤して居た。所が其の婆さんが、自分が疲れて歸つて來ると、何時も何によりも先きに炊事の話をする。噫五月蠅さいとツイ腹が立つ、此の腹の立つた所から、計らずも以前のことを思ひ出し、玆に始めて悟る所があつたと云ふとである。

されば妻たるものは、終日疲れて歸つて來た夫に、云ふべからなることを云はぬ樣にせなくてはならぬ。又夫が不品行して歸つて來た樣な場合にも、先

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

づ慰め、夫の心が落ち付いてから言ふべきことを云ふがよからうと思ふ。

夫の方にしても平常から妻と能く話をし、話の間に妻を導く樣にして置けば、妻君が分らぬ事を云ふて五月蠅がらせたりせぬ樣になる、又社用で急を要し家に歸らずに旅行した樣な場合には、出さきから手紙なりハガキなりを出すようにしておけば、妻君に無用の心配をさせたり、歸つてから自分も不快な思ひをさせられたりせずして濟むことが出來る。

一體日本人は男も女も、互に人の精神の知識に乏しく、言葉は少し惡いが、云はゞ操縱と云ふことを心得て居らぬから、下らぬことから家庭に風波を起こす樣になる。ソレに又日本人は筆不精だから困る、女子大學の卒業生などで、在學中私が色々世話してやつたものが、地方へ行くと三四年も手紙をよこさぬことがある、モウ忘れたのかと思ふて居ると、地方などへ行つたとき會つて見ると忘れて居る所ではない、非常に悦こんで呉れる。コウ云ふ筆無精な所から妻君が夫に心配させる場合もある、又最も多く夫が妻君に無用の心配をさせる。

記者申す、夫の不品行を苦にして居なさる御婦人方も家庭の面白からぬに閉口して居なさる男子も、高島先生の御話の中から學ぶ所が多からうと存じます。

▲私は太陽の見捨てない中は、お前を見捨てないとは詩人ホイットマンが零落者への語である、何んと偉大な語ではないか。

▲不道德に對するには、道德を以てし惡思想に對するには、正しき思想を以てするより外に途がない。

▲新らしきものを有害視するは、其の人の智識の貧弱を意味する。

▲女は弱い、弱くあれ、己れを信じなと教育されて來たから弱いのである。

▲女が男に壓制さるゝと云ふことは、新らしいことではない、併し其の壓制されてる女が、壓制に氣の付いたのは新らしいことである。

▲英國の婦人參政權論者曰く、選擧權を獲得すると云ふことは重大事ではない、之をすら男子が拒むと云ふことが重大事であると

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

之れからの婦人

一　強い女

記者

『女子大學を卒業して、地方の高等女學校の敎師になり、年も早や三十を越した女で、結婚問題などが起ると判斷に苦しんで、先生ドウか命令して下さい、自分では迷つて仕方ありませんから、コウせいと命令して下さいなぞと云ふのがある。私は何時もソンナ時に云ふのである。忠告だけはして上げるが、ソンナ人の大事に對して命令なぞの下せるものでないと。』之れは記者が過日、高島平三郎先生よりお聞きしたお話である。此のお話の中に、日本の女は、高等の敎育を受け、年も三十を越しても尙ほ人に賴よる精神があつて、自助自立の精神の甚だ乏しいことが、充分現はれて居るではありませんか。

『米國では六十にもなるお婆さんが紅い衣服を着て居ることがある。不思議に思ふてドウしたのですと聞いて見ると、何に自分は紅い衣服が好きだからですと答へ、平然たるものである。世間が何んと云はふが人が何んと云はふが、自分の好きな樣にして平氣な所が面白い。自信の念の如何にも強い所が嬉しい。』之れは過日新渡戸稻造先生の談られし語である日本の女も早くコウなつて欲しい。

森村市左衛門翁は『女子必ずヨワキものにあらず』と云はれて居るが、ソウです。女子は必ずしも弱きものでない。今日の女子が弱いのは弱くしたから弱

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いのである、之れを強よくするのが今日の急務であると信じます。

女が強よくなつて、女に對する男の考が根本的に變らぬと、男の道徳が嚴粛になりません。

二　婦人の實力

安部磯雄

婦人に實力がありさへすれば、自然に婦人の位置が高まると云ふ人あれど、今日の男子の多くは其の婦人に實力のつくのを喜ばないから困る。其の證據には帝大卒業生間では、女子高等師範の卒業生は聞いたばかりでもゾッとするが、同じ高等師範の管轄の下にあるお茶の水高女出は理想的夫人だと云ふ事になつて居る相だ、ソレから見ても其眞意は解るのである。ツマリ男の自由になる位の程度の婦人でなくてはならぬ。妻があまり學問があつては理窟の一つも云はれてはならぬと云ふのであらう。

然し何と云つても女子が男子と同様に職業に進みつゝあるのは爭へぬ事實です。これが大なる實力だと思ふ。女子も獨立の職業があれば、結婚をする場合にも強いです。女子に高等教育を授けると云ふ事は、職業教育をすると云ふのとは違ふ、けれども幸にして女子は高等教育を受ければ、丁度それが職業にもなるから、自分は娘を人の一番いやがる女子高等師範に入れやうと思ふ。さうすればもし不幸にして夫が死んでも二人や三人の子供は養育して行く事が出來ると思ふ。

三　潰しのきく婦人

藤生てい子

私は今日の婦人が事をするには二つの方針の中ドチラかでなければならぬと思ふ。衣食の爲めにするか、道樂にするかである。そして衣食の爲めにするのならば、初めから明白に生活の爲めと標榜する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

がよいと思ふ。生活の基礎もたゝないのに主義主張のためにすると云ふのは自然そこに自分にも無理が出來、世人からも疎外さるゝから成功する事は難い。併し又たそんな事はかまはない、たゞ主義主張の爲めにと云ふ。確信、勇氣、努力がある人ならば又それはそれで結構である。たゞ私は一時の好奇心に驅られてすると云ふ事が、女子に限らず男子にでも危險な事だと思ふ。私は今はまだ自分の生活小供の敎養に大なる責任があるから、仕度い事は澤山あるがようしない。子供を一人前にしてから六十位になつてもよろしい。それから兼ねて宿望して居る仕事をしたいと思ふのです。眞に力ある婦人を養成したいものです。婦人は夫に養はれるものと定まつたものでないから、夫の病氣した場合、若しくば夫に力のない場合、時によつては妻君が天秤棒を肩にし、尻り端折つて働かねばならぬこともある、これからの婦人は學問も出來れば、お臺所も出來る、と云つた様につぶしのきく婦人でなくてはならぬ。

　私の知人若柳吉千代さんは、お乳母日傘で育てられたお孃さんで、ソレから立派な奥様になられたが不幸にして未亡人になられた。學問もあれば諸藝も出來るが尤も踊が得意な方である。或日何をしやうかと相談せられた、そこで私はあなたは踊の師匠をなさつたらよいでしやうと申しますと、まあ踊の師匠と驚きなさいました、ソコで私は踊の師匠が何が悪いのですか、それはこれまでの様な幇間的のものならば賤しいかも知れんが、あなたはあなたの見識で立派にお立ちなさつたらばよいでしやう、そしてどんなに上手でもやはり名人の後見がなくてはなりますまいと申して、○○氏を後見にして披露會を起しました、マア此人ならば關西では○○、關東ではこの人と申位の一流の人ですから申分はありません。その時の踊りが大變立派でしたので、一同嬉し泣きに泣かされました。此頃では襟のかゝつた着物

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に細い帶を立矢の字に結んだ何んとも云へぬいきな風で結構です。まだ二三ヶ月にしかなりませんが、たち處に五十人百人のお弟子さんが出來、後援會まで出來た樣な次第で非常に盛大で御座います。昔を知つて居る方はマアあのお孃樣がと驚きますが、人は其の時、其場合に應じて行く事が出來なければならぬ。　私も昔は隨分人も使つて居りましたが夫が歿してからは、子供を敎養する爲めに專ら生活の爲めに内敎授、出敎授と英語を敎へて居りますが今に子供が獨立する樣になれば、決して十疊の部屋に狆と遊んで居るとか、自働車で遊び廻る女でないから、そうなつたら隨分したいと思ふ事があるのです。

或お婆さんは孫もあるのに料理の稽古を始めたが何んでも毎日習つて來ては、いろ〳〵の變つたものを拵へてやるので、息子も孫も大喜びでお茶やから取らなくてい丶よと悅こんでゐられます、私は大賛成〳〵お婆さん本當に新らしい女ですねと申したことがあります。

世の中は種々の色彩があるから面白いのです、二三の若い女が何と云つた處でかまはないぢやありませんか。

記者申す、右は藤井女史をお尋ねして承はりました、談話中の數節です。さて女史のお書きになりましたものは何だか深い所のある樣に思はれましたが、おあひ申してお話を伺つて見ると想像以上に確かりした眞の女丈夫の面影があります。

十三におなりになる女の子のおしつけも非常に敬服させられて歸りました、家にばかり居るのが、家を治める道であると誰れが申しましやう、自分の樣な井の中の蛙は他所の家庭を拜見して來るのが何よりの學問です。

一口ばなし

男「實に女は頭腦が惡くて物の整理がつかぬ、なんと言つても男子の眞似は出來ないよ」

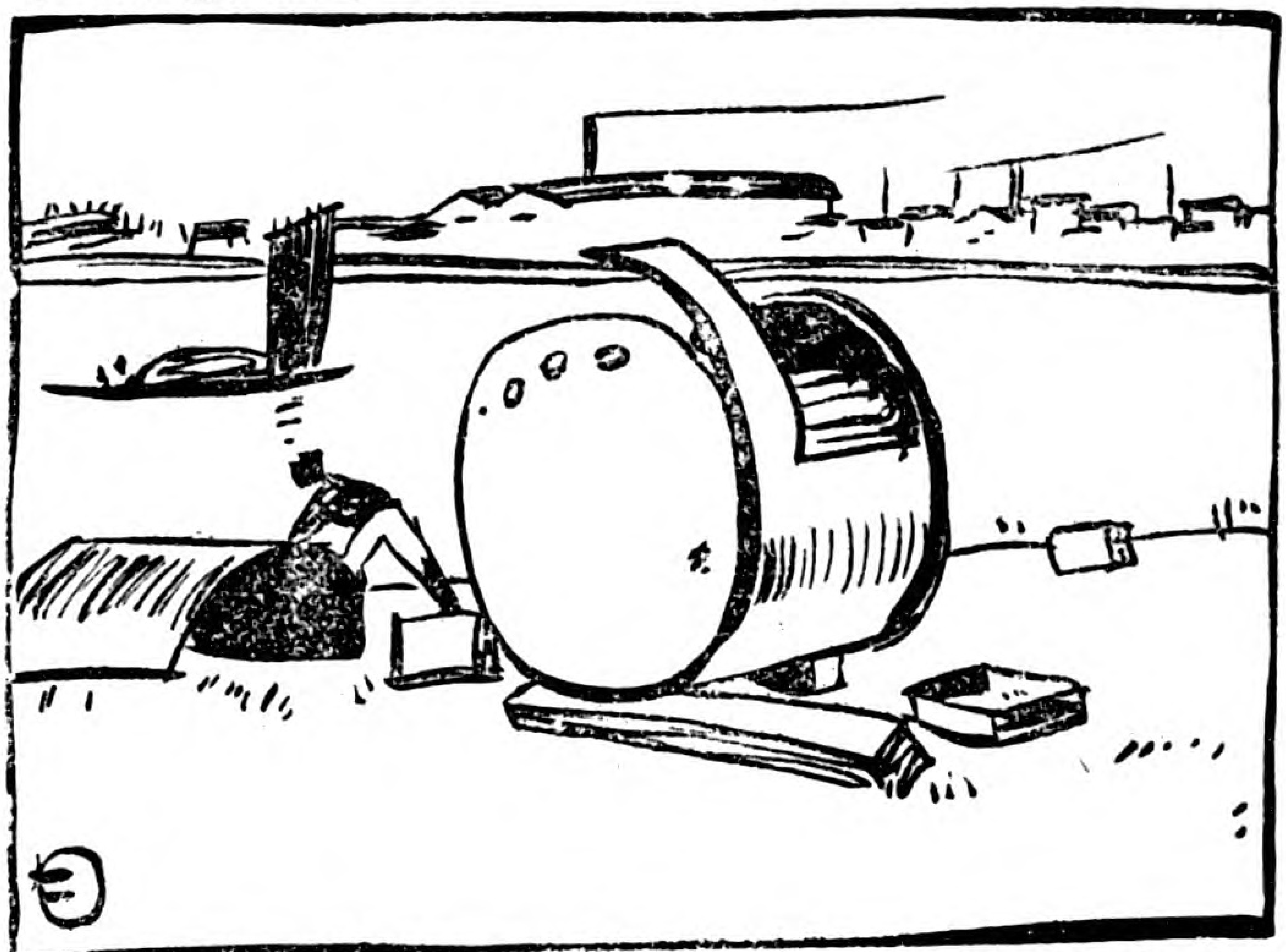
女「そりや、男子は事務員的に出來てるから、だけど女はクインの權威と慈愛とを持つて居ますよ」

（木村駒子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

他山の石

▲我國の新しい女（世界雜誌）　無責任、無方針なる新聞紙が、勝手に命名する如く、墮落女文士も、女優も、女浪花節語りも其の他自暴自棄の氣紛れ者をも、總稱して新しき女の團體とせば、固より吾人の批評を値せず。但だ最近に起れる新眞婦人會と稱するは、……吾人を以つて見れば、其の宣言する所、其の要求する所、寧ろ『新眞』などの冠字を要せざる程、平凡なる丈け其れ丈け、穩當至極のものなりと言はざるを得ず吾人の看る所に依れば、彼等の主張は、從來の日本婦人の因襲的、屈從的道德に繋縛せらるゝに慊らずして、現在及び將來に於ける我が國婦人の社會的地位を自覺し主として宗教的教養に依つて、各自内在の眞價値を發揮せんとするに在りと言ふもの、如し。但だ彼等は、其の思想發表の方法として、先つ演說會を選みたるを以つて、思ふ事口にせず、口にするも、人前を憚つて低聲にて言ふを、萬古不易の禮式なるが如く心得たる日本婦人としては、其の餘りに異色なりしが故に、一世の攻擊をすら受くるに至れる也。以上は、彼等の主義、態度を、表面的に觀察したるまでなるが、彼等個々に就いて、其の信念や人生觀の一端を聞くに、頗る傾聽に値するものあり。新奇なるものは必ず世の非難冷笑を受く。吾人は現代の傾向風潮に注意を拂ふ經世家が、此等婦人の運動を一概に拒斥せざらんことを望む。▲記者申す、世界雜誌記者の言は、私共にとり知已の言である。



月しま　吉原とみ子

▲新眞婦人會の長所短所（世界の日本）そこへ行くと新眞婦人會の方は、結婚して居る連中である丈けに、多少安心の出來る樣な點がある。そうして又精神から云うても宮崎光子などは、中々平塚明子に負けては居らぬ、そうして其唱へる處も、何だか要領を得ぬ樣ではあるが、兎も角戀愛なき結婚は間違つて居ると云ふのは確に一面の眞理であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ろから、此連中の唱へる說に感化される女が多くなつても別にそう困ると云ふ事はない併し靑鞜社の連中の說にかぶれる者が澤山出來る事になると、一寸面倒である、それで新眞婦人會の方がよい處もあるが、併し宮崎なり其他此會の連中は明子程にでも自分の道を切り開いて行く事が出來るかどうか、ちと覺束ないと思ふ、まあ大に遣るがよからう、何れ解決しなければならぬ問題の解決を早める丈けでも感謝して置いてよい（三宅雪嶺）▲記者申す、大にやりますから安心して下さい

▲新婦人、舊婦人（新修養）舊き女は其の異なる所に執して同じき所以を忘れ、新しき女は其の同じ所以を主張して異なる所を逸却せんとす、共に中正を得たものではない。異中同あり、同中異あり、明月に雲を藏くし銀盤に雪を盛る。女をして人たるを自覺せしむるは則ち可、しかも其の女たるを忘れしむるは眞に覺醒せしめたるものではない。（加藤咄堂）▲記者申す、まだ日本の女は人としての自覺をしかけた丈けです、御心配は少し早や過ぎは致しませぬか

▲實質、實力（新紀元）若しも今の新しい婦人か立派な人格を備へ自己の本務を完全に果すことが出來、なほ且つ、文學、美術さては經濟、政治にも趣味を持ち、男子に對しても、共に語るに足る丈の素養だに備りましたならば、求めずして、世の尊敬を受けられませう、權利も獲得せられませう。實質を調へずして、喋々するよりも、先づ實質を整へることにつとめる方が、急務ではありますまいか。（山脇房子）▲暴なる點に於て不贊成でありますが、偖西洋婦人の實力を見まするに、男子に比して甚だ遜色なく、各種の方面に於て、男子と匹敵して居るものが少からぬではありませんか。それを實力をつけないで、何でも男子に匹敵しやうと云ふのは到底出來ぬ話であります。（下田歌子）▲喋べる丈けでも、匹敵しやうと云ふ意氣の出掛けた丈けでも一進步、實力のつく一階段ではありませんか、ソレを惡く云はるゝ方々は日本の婦人に實力のつくのを御好みにならんのでしょうとしか思はれません。

▲新佛敎 誌上で守山さんは私共を評して『ツマリ惡く云へば從來の服從主義を破壞せんとする婦人界の反逆者、善く云へば時代思潮の進步した先覺者である』と云はれた▲記者申す、惡く云へばなどと、ワザ〳〵人の惡い方は云はないがよろしい。

▲新眞婦人の內容を論ず（修養世界）要するに女のヒガミ根性が大きく社會的に表はれ、而して力強く他の形に於て生れたものが卽ち新眞婦人の團體である（乙部香海）▲記者申す失禮ながらモ少し婦人問題、婦人の自覺と云ふ事の眞意義を研究して下さいと云ひたいのです。

▲婦人の自ら省みるべき事（新民家庭）僻みを出して親を疎んじたり、或は主婦が自分で自分を、高等な女中か何かの樣に

思ひ込んで、主人との間に隔てをこしらへ、その結果、心に堪へがたい寂しみを抱いて、獨り煩悶して居る婦人が少くないやうに思ひます。如何はしい小説その他の讀み物が、若い婦人に要求され、歡迎されると申すのも一つは斯やうな寂しさを紛す爲かも知れませぬ。とにかくこの點は、婦人自らに於て省みればなりませぬが、それと同時に父兄や教育家たるものも、心すべき事であらうと考へます。(坪野平太郎)▲尤もな注意と思ひますコウ云ふ忠告に耳を傾ければならぬ婦人が多くあります。

▲自覺せる新女徳の價値(大正婦人)

男子に對して反抗する事のみを以て生命とする女はいざ知らず、其個性を發揮する事に依つて男子と對立し精神的及び智的修養に依つて其人格を認められ、立派なる婦人としての位地を得んとする人々は、決して危險な行動ばかり取る事はあるまいと思ふ。其途中に於ける障害と闘ふ事はあるかも知れないが其目的は何處までも向上と發展とである そして個性を發揮する事に依つて更に高き地位を得んとするならば、將來新しき女の行く可き道は矢張り女の道であるに違ひない…唯全く異る點は之を教へられ或は強ひられたのと、之を自覺して守るとの差である而して女子自身が自覺して守る女の道は最も力強く且つ最も價値あるものではあるまいか。世の教育家は此の方面に新らしき女を導かればならぬ。(澤井秀一)▲記者申す、澤井氏の觀察は私共と同樣であります。

▲家庭園藝　といふことが流行り出したのは悦こぶべき事です。此の形勢を見て今回『家庭の園藝』と云ふ雜誌が創刊されたが、中に東京美術學校教授稲井氏の文あり、中に曰く『花賣から花を買うて之を寫生したり、人の作つた花で寫生したのでは實は不可んので、假令牡丹五つ株位のものでも手づから培養して之に水をやり、肥料もやり、虫も取り等して其の間に得るところの智識、生育の有樣や、自然の成り行きを充分に觀察し會得して其の觀察で得たる處の生々とて居る智識によつて畫くのでなければ眞の寫生でなく寫生したと云うても其は眞に寫生し得たりと云ふ事は出來ない又眞の花鳥畫家と云ふ資格はないのである』▲記者申す、之れは美學上に益があるばかしでなく、道德上信仰上にも益がある樣です、私も家庭園藝を勵奬したい一人であります。

雜貨店

川浪胡風

暑く蒸す夏の日暮を
茅に月畫ける扇團
いと白き手をばやたらに
夕顔の風を送りて』
香よし飾る品物も
言云はぬ人の情か
微笑みて買ひ依る人に
君が賣る紅の添へ物

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖ニコライ號の船上にてトルストイ翁を見し記

クープリン作
瀨沼夏葉譯

其れから五分を經て、レオ・ニコラエヰチの一人の知合のものが來たが、其時トルストイは、見るところ、全然別な人間に變つて了つた。彼は少し自分を裝い飾つて、忽ちにもう三十歲の若者になり、確乎した聲で、明瞭した眼色で、元氣のある品のいゝ擧動で、然も多大の趣味を添へながら、甚だ上手に左の笑話を語つたのであつた。

『御存じか、奈何だか、私は此の間病氣をしたのですがね、其時たしかタンボフ縣からでしたよ、見舞の人達が寄越されたのです、然し生憎と私は彼等を室の內で迎へることが出來なかつたので、彼等にその、一人々々に窓の外から私に逢つたやうな譯で……さうして其の………或は貴君は御存じでせうが、私の書いたあの『文明の結果』の中にある、あの肥滿つた婦を、或はお讀みになつてお出でせうが、丁度まあ、あれですね、那麼婦人が矢張遣つて來たのでしてな、で、その云草が恁うなんです、私どもが尊敬致して居りまするレオ・ニコラエヰチ、貴方樣がわが文壇に貢獻なすつたところの、彼の不朽の作物は、どれ程にまあ社會に歡喜を與へて下すつたものですか、今、私はそれに對して、唯一言のお禮を申上げたいのですどうぞ其れをお辭み下さいませんやうに……』と、まあ恁云ふ挨拶でした。だが私は彼女の眼色で、彼女が私の作なんぞを、乾度一つだつて讀んぢやゐないと云ふのを、ちやんと見て取つたんで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す。で、私は彼女にかう聞いたんです、『奈何です何が一番に貴方にお氣に入りましたか？』と恁うやつたのです、するとさあ、もうそれでばつたりと案の如く行詰りさ、何故なら、勿論それ、何にも讀んぢや居らんのだからね。すると後から誰かが小聲で囁くのだ。『戰爭と平和』それから『幼年時代』それから『少年時代』所が彼女はもう眞赤な顏になつて、眼をキヨロ〳〵してゐたが、やうやくにかう云ひ出したんです、そりや、非常にどまついて極りが惡るさうにね。

『あゝ………さうですよ……『幼年の男の子』………『戰爭の平和』……それからまた其他の……

其時一人の英吉利人が入つて來た。と、私は又も全く別なトルストイを見るのであつた。彼は忽に氣品の高い、風彩の立派な英國の貴族になつて英國風の發音で綺麗に、巧妙に彼と話した。

恁く私は僅か十分か、十五分の間に、これらの悉くの印象を彼によつて受けたのである。私は思つた、私なんぞが、假令數年間かゝつても、彼の性行を到底知り盡すと云ふことは難いことだらうと。

で、私はこの僅の時間に於てしみ〴〵と恁う悟りもし、又恁う解りもした。まづ第一に私は此の驚くべき人間と同時代に、自分も猶且生きてゐると云ふことが、自分にとつては、限りなき喜ばしい、明るい思想の一つである。又自分も彼と矢張同じ人間だと感じるさへ、如何にも快く、如何にも價値あることゝ思はれた。又我々は彼と同一の綺麗な我が露西亞語で自ら語り、自ら思想し、自ら感じると云ふことを以て誇とすることが出來る、と。又あの美しい娘のナターシヤや、髮のふさ〳〵したワシカ・デニソフや、老馬ホルストメールや、牝犬のミルカや、フルフルや、又冷血で鐵面皮なドロホフや、まんまるいプラトン・カラタエフなどを造り上げた人間、又彼のぶる〳〵と脛を顫はしてゐるナポレオンやマ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ソン宗の信者や、兵卒や、カザックなどを、彼の少し血の臭のする、少し煙草の臭のする、何となく床しい臭のする、心を引寄せるやうな叔父のエロシカと共に、私等の爲に再び彼等を皆復活せしめたる所の人間、卽ち、一種の神祕的の權威を以て、私等をして或は泣かしめ、或は喜ばしめ、或は笑はしめたる所の、この多方面な人間こそ、社會に眞の歡喜を以て迎へられる所の眞正の權威者である。又彼の神の創造力にも似てゐる彼の權力は永久に存し、もう私等も、私等の姉妹も、私等の孫等も此世になくなつて了ふ時に至る迄も猶この權威は存在してゐる。

それで私は、今、この重さうな、不恰好な、荷物汽船の『聖ニコライ號』がヤルタの波戸場を出でんとして、第二の汽笛から、第三の汽笛を鳴すまでの間に、まづ以上のやうなことを熟考してゐた。

さうして私は又更にもう一つの些と面白い現象を見た。私は急いで船から降りて來やうとする時、丁度其處で出會はしたのが船長だつた。

私は彼に訊いた。

『貴方は知つておゐてですか？誰を乘せて行かれるのだか？』

船長の顏は俄に晴れ渡つて、喜ばしさうな微笑を漏し、急がしく私の手を握つて（彼には時間が迫つてゐたから）叫んだ。

『勿論知つてゐます、トルストイをです！』實に此の彼の名は、恰も地球上の有らゆる經緯度を通じて到る處に一樣に了解されてゐる不思議な總てを統一する所の言のやうであつた。

勿論知つてゐます、レオ・トルストイ！、私は滿腔の愛と感謝とを以て、彼に幾年も猶健全にして、幸福なる生活を送られんことを祈る。且つ望むらくは全人類の利益と喜悅の爲に、この譬へんやうなき、美しき庭園を植ゑ育てたる、其の善良なる主人として、又其の王の如き生活の晩年に臨んで、其の手にて造つたところの、此の黃金の果實を猶長久に觀想せんことを。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オリブ・シュライネル女史著『婦人と勞働』を讀む

高野重三

記者申す、高野先生は、深川富川町高野鑛油製造所の所長さんで、米國文學士である。先生はオリブ・シュライネルの書に就て語らるゝ前に、『二十年前から自由戀愛と云ふことを考へて居たが、一昨年の秋、娘を嫁にやつてから、殊た婦人の位地と云ふことを痛切に考へ始め、ソレから婦人問題を研究して居る』と云ふより語り起して、『ダン／＼研究をして、此の問題の爲めに、實は歐米漫遊もして見ようとまで思ふて居る』との抱負を述べ、更に『私が新眞婦人會で話をすると聞いて友人の中には高野はいよ／＼巣鴨行だなどと言つて、止めたものがあるが、私は決心して居る云云』と談りて、人類の半數たる婦人の境遇を高からしめんとする、實に偉大にして光榮ある大問題の爲めに飽まで盡さんとするの決心を示されました。

（一）オリブ・シュライネルとエレン・ケイとの比較

現今歐羅巴で婦人問題に就ての著者として、最も有名な婦人はエレン・ケイとオリブ・シュライネルの二女史である。兩者を一寸比較して見ましやう。オリブ、シユライネルは南亞弗利加のツランスバールにて家鴨を飼養して居る熱い國の藝術の人で、エレン・ケイ女史はスカンジナビヤの寒い國の大學者である、共に其著書は歐米各國語に譯され非常な感化を及ぼして居る。

エレン・ケイの文章は細かい書き方で、其警句に富める事は、あまり警句があり過ぎて五月蠅い程である。オリブ・シユライネルのは大きな事ばかりに目を付け、文章もスラリとして居て分り易い。一方が密

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

書ならば、これは一筆畫の樣なもので、一方は近く視れば視る程よい、これは遠く見る方がよい、彼れは顯微鏡で見るべきものならばこれは望遠鏡で見るべきものだ。

（二）世間の批評

シユライネルの著書に對する新聞雜誌の批評二三を、左に紹介しましやう。

▲ザ、ネーション曰く　終に總ての覺醒の預言又は福音書たるべき運命を有する著書出でたり。只に智的作物として『オリヴ・シユライネル』の此著書は非凡なるのみならず、其偉大なる事と其精神の潑溂たる事とは將來の幻影に其激勵と鼓吹を發見したる感慨に滿ちたる力にありて存す、多年廣く愛讀せられ且つ論議せらるゝ著書たるべし。

▲ザ、デイリー、クロニクルに於てセー、ラムゼーマクドナルド氏曰く　此の著書は鋭敏なる議論と科學的智識と歷史的美觀と迸ばしり出づる感慨との混合作物にして、其讀者を魅するの力ある事多大なり、且つ『オリヴ、シユライネル』特有の文體たる潤飾したる散文にて書かれたり、實に此著書は敘事詩と稱するも可なり。

▲ザ、デイリー、メール曰く　曾てオリブ、シユライネルが世界到處の讀者より、喜悅と嘆美とを得たる總ての資格は又茲處に其古き力を以て顯はれたり、其處に烈しき諷刺あり、其處に心の奧底より出づる雄辯あり、其處に昔ながらの機敏なる論議深切、及び人生の祕義を詩的に透察する力あり、婦人に關する種々なる運動の背景に隱れ居る感情は此非凡なる著書程明かに且つ雄辯なる言明を得たるものなし。

▲ザ、デイリー、ニユース曰く　太陽の昇るに從ひ吾人に廣き自然の水平線を見せしむるが如き著書あり、本書の如きは即はち其一なり、『マザニー』の文章の如く感慨に滿ちたる論理、燎原の火に燃ゆるが如き政治論なり、婦人反對論者が之れと等しき熱烈なる眞面目なる且つ豫言的なる著書を著はすにあらざれば、未だ婦人の權利に關する主張を疑ふ能はざるなり本書は思慮ある人士の深き印象を起すならん近代婦人の地位並に勞働の狀態の變化によりて生じたる問題等に關したる創造的なる廣き且つ哲理的なる觀察なり。
著者は事々物々が近世の事情の下に著しく變じ而して婦人が此變化したる境遇に完全に適應する如く、其人世に對する態度を變ぜざれば只に彼等を墮落と寄生物の生涯より救ふ能はざるの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

みならず、人類一般も亦た囚はれと衰亡より救ふ可らざる事を誰人と雖も首肯せざるを得ざる議論によりて主張せり、本書は單に婦人選擧權に對する辯疏にあらず、投票に對する運動の如きは婦人の凡ての地位を變ぜしむる運命を有するより宏大なる運動の只に一方面に過ぎずと言做され居れり。本書は如何にも非凡且つ熱烈なる爲め或は今の偉大なる婦人運動の聖書と仰がるるに至るやも知る可からず、實にオリヴ、シュライネルが成功せし著書中の最も珍らしきものたるは疑なき所なり。

此等の批評によりても、其書の大體を窺ふことが出來る。

(三) 著述の由來

シュライネル女史は其著の卷頭に長い序文を添へてありますが、其の序文の大意をお話すると、此の書著述の由來を知る事が出來る。

さてシュライネル女史は夙に婦人が寄生植物や寄生動物の如く自から働かずに、男子の勞働に寄食して居ると云ふことは、男子の爲めにも、婦人の爲めにも、果して善いことであらうかとの疑問を懷き、若い時分から『婦人と勞働に關する感想』を書かうと心掛けて、爾來三四十年も苦心して其の原稿を書かれた。

女史は先づ順序として、生物から調べて、動物などでは雌の方が雄よりも力の強い種族があることを發見した。子供を育てるにも、人間は女が育てるが動物は雄が育てる場合が多くある、蛙の或種類に於ての如きは、雌が雄の背の凹みへ卵を產み付け、雄がそれを育てると云ふ事を發見した。

又獸などは胎んでから產むまでに人間の樣に苦しまぬ、人間に限つて產みの苦しみあるのは何故かと云ふに、ソレは人間も元は四つ這であつたが、子を育てるのに抱く都合から立つたり、子を連れて逃げる場合に立つて步いたりしたことから、遂に立つ樣になつたが其報酬として出產に苦しむのだと云ふことを發見したなどと書いてある。

植物動物の雌雄に就ての研究が終ると、野蠻人の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女を調べ系統的に婦人問題を論じて、吾々に分り易い爲めに我が年號で云ふと明治二十二年頃までに澤山の原稿を書き上げた、けれども直ちに出版せず尙ほ研究を續けて居た、所が明治三十一年頃に健康を損じたので海邊にいつた。其の頃英國とツランスバールとの間に戰爭が始まり相だつたが、やがて宣戰が布告された。女史は心血を注いだ原稿がどうなつたかと心配でならなかつたが薩張り樣子が分らない。其の後八ケ月立てツランスバールの友人から原稿までも室の中央に積み上げて、目茶苦茶に燒き盡されて了つたと云ふ報知が來た。女史が此の時の失望はいかばかりであつたでしやう。

さて故鄕の近くまで歸つて來たが每日戰爭で外出も自由に出來ず、不愉快で仕方がない、ソコで頭をかへる爲めに何にか仕事をと考へ、以前に燒かれた原稿の事を思ひ出して、一つ書き直して見やうと決心した。が併し健康が勝れない爲めに、全部書き直す勇氣がなく、序文と後三章としか出來なんだ。『婦人と勞働』と題して出版されたのが卽ち其の原稿である。

序文の終りの一節は、殊に名文と思つたから、拙いながらも譯した、讀み上げて見よう。

余は復再び婦人問題に就き書き或は語るの機會なきやも知れざれば予等の後に將に來らんとせらる、男女の諸君に對し玆に倘ほ一言を加へんと欲す。

諸君は如何に予等を驚きの目を以て回顧せらる、事ならん。諸君は予等が如何に熱心に其問題の爲めに苦しみ戰ひしにも關はらず、更に何等の成功と認む可きものなきに驚かる、ならん。又諸君より見らるれば予等が其目的を達するにイト判り易き途をも予等は發見する事能はずして其途を取らず、諸君より見らるれば堪ゆべからざる罪惡と見ゆる事にも、予等は安然として屈從し、且つ屢々著大なる眞理が予等の前に橫はりしにも關はらず、予等はソレを認め得ず、又時に幸に眞理を捉へ得しも終に之れを確く掌裡に握る事能はざりし事ありしを驚かる、ならん。

されど、されど記せられよ、其結果の極めて僅少なるにも關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はらず。予等が斯く苦しみ戰ひ續け來りしは、何等予等自身の爲めにあらずして、唯諸君の爲めを思ふ一片の念慮に外ならず且つ今日予等が享け得たる生涯よりも更に一層豐富に且つ充實したる生涯を諸君が送らるゝことを得たらんには予等が自らの働きの不幸にして不結果に終りしに對し何等の之れに勝る慰藉あらんや。

（四）本文の梗概

本文の第一章は寄生論としてあつて、ダン〳〵掃除は掃除夫が來てするし、パンはパンやが持て來ると云ふ風になつて來て、家庭に於て婦人のすべきことがなくなつたことから書きかけてある。而してさらばと云ふて婦人だから遊んで居てよいと云ふ理由がない。婦人が男子の勞働に寄食することは、男子の爲めにも婦人の爲めにもよくない。婦人は家庭で仕事がなくなれば出て働くがよい、手ですべきことがなくなれば頭を使ふ働きをするがよいと痛論してある。更に同じ働きをしても女は男より賃銀の安いのは何事ぞと憤慨してある。

第二章は『戰爭と婦人』としてあつて、婦人は兵役の義務を盡さぬから、參政權を與へぬと云ふが、婦人の子を産む苦しみは兵役に優ると云ふことを極力論じてある。

第三章は戀愛に就ての論であるが、離婚の自由に就ても論じ、女は肉體を小供に傳へるばかりでなく精神も傳へるものだなどとも說いてある。

以上はホンの梗概で、次回には第一章を講義し、次に第二章、次に第三章と云ふ風に、後尙ほ三回、此の書に就て話て見たいと思ふ。最後に尙一言しておきたいことはオリブ・シユライネルは、自分の爲めでなく、同姓の爲め男子の爲め、即ち人類全體の爲めに、千年、二千年の後のことを考へ、將來を見越して論をしてあるのだから、實に美しいと云ふことである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

談話室

婦人と大志

男子が大志を懐くことが、惡いことでない以上、女子が大志を懐くことも、惡いことでないでしよう。否私は婦人に大志を懐くことをおス丶メしたいのです。

私共、婦人の階級から、奴隷廢止運動に於けるハリエット・ビイチヤ・ストウだの。淫賣退治運動に於けるジヨセフイン・バトラーだの禁酒運動に於けるフランシス・ウイラアドだの戰爭廢止運動に於けるベルサア・フオン・シユットネルだの、乃至は婦人運動におけるエレン・ケイだの。オリイブ・シユライネルだのと云ふ樣な、其の感化の世界全體に及べる婦人が出て居るではないか。男子の階級から出て、其の事業、其の感化の右の諸女史に比し得べきもの、果して幾人あるでしようか。

私共は自から卑下してはなりませぬ、女は男に比して必らずしも弱いものでありませぬ。又女は男より愚なものでもありませぬ。

私は何所までも、婦人も亦た大志を懐くべしと主張して止まないものです。

（花村女史投）

孝經にありますか

嘉悦孝子さんは、古い女を以て自任し、孝經の講義なぞされたが、孝經に女子に商業教育を施せの、女子に經濟思想を與へよのと云ふことが書いてありますか。女子に商業教育を與へることに盡力なさる嘉悦さんは、事實に於て新らしい女の一人で、其の口で丈けは古い女なのです。

（高野重三氏談）

存外單純ですね

大隈伯が『新日本』に『新らしき女に與ふ』と麗々しく書いてありますから、早速讀んで見ました其の云ふ所は要するに『兩性間の關係の自由を欲して離婚を望むに至る、此處に至つては甚だ危險である』と云ふに過ぎないのです。存外單純なので失望しました。大隈伯は今日の所謂婦人運動の擔へる所のものゝなんであるかを了解して居ない確かに了解して居ないと思ひます。

（一記者）

小供が好きで

私など最初から專門家にならうと思つて習つたわけでもなく、たゞ好きだから女學校に行く樣になつてから、學校の傍ら稽古したまでです。此頃は小供がだん／＼解つて參りまして面白いものですから、その方にかまけて、繪の方はなまけて居ります。私は妹なども

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

多く御座いますし、小供は好きで御座いましたが然し自分に小供のない時は、他人の小供でも自分の小供でも同じだらう、私は猫や犬も可愛がりますから、小供も同じ樣に可愛いのだ位に考へておりました、實際自分にもつて見ませんと解りません。

始終いたして居りますと、それもいやになりますかも知れませんが、たまには小供の着物を仕立たり、お料理を手傳ふやうな事も面白う御座います。(池田蕉園女史談)

迷信かも知れぬ

私はあるものから大なる力を與へられて社會へほうり出された者で、自分に大なる責任あることを感じ自己の天才を充分に發揮して後に、初めて出生屆を出さればならぬと云ふ樣に、迷信かも知れませんが、常に思つて居ります。

私などあまり種々と書かれますので、始めの中は其の度毎に、喧嘩にでも行かうかと迄思ひましたが、モー馴れて了ひまして何と云はれても平氣で御座います、然し、私など本當に世に傳へられて居る樣ならば大變です。

私の父も叔父も師匠についた事は嘗て御座いません、私も父や叔父にも少しも習つた事は御座いません、獨りで書かうと思ふものをかく丈けです、出來上つてから批評されるのはよろしいが、製作中に人に見られたり評されたりするのは大嫌ひです。

また繪に籍をおいたのは一年か一年半でかきましたのも三つ四つに過ぎませんが、私の頭からは暫時も繪の事が忘れられた事はありません。

私は又小供の雜誌殊に女の子の爲めに雜誌を出したいと思ひます、これまでも男の子の雜誌には、理科歷史といふ樣な科學的智識に關した事もかゝれてありますが、女の子のものは多く情操的のものばかりです、小供の科學的智識を要求する好奇心を利用し應用して行けば自然女子も男子と同樣に發達して、今日の樣な婦人問題などは起らないと思ひます。(尾竹一枝女史談)

新しい老人

(一)矢島楫子さん

私は「大正婦人」誌上で、「新しい女に同情せよ」と云ふ矢島さんの文を讀んで、非常に感心致しました。曰く

△近頃ではまた新らしい女とか、醒めた女とか申して、それが善いの、惡いのとなかなか世間が八ケ間敷い樣ですが、新らしいと云ふのも醒めたと申すのも、要するに進歩の階級の一段を登つたのであるから、惡い處は餘り攻撃せずに、執るべき點は同情して寧ろ發展する事に勉めてやるのは、社會の義務であらうと思ひます。

△私は既に八十歳にもなりますが、どうか若い人に後れないやうに進みたい、時勢にそむかないやうに思想を養ひたいと心がけて居ります。何んでも一つ弊害があるから

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と申して、直ちに否定したり、寧しろ差し控へて居つたらと思ふ様では、とても今日の文明が見られなかつたでしせう、然れば少し面白からぬ事があつても、一方にそれ以上よい結果があるなら私共は進んで好結果の多い方を取らなければならぬと思ひます。

△新舊思想の衝突を避ける爲めには、前に申しました通りに、老人が若いものゝ缺點を指摘する前に、自分が若いものに後れないやうに勉強する事が大切であります、さうすれば若い者の考も充分會得する事が出來て凡てを圓滿に解決する事が出來ませう。

八十にもなる老人で、之れ程分つたことを云はるゝ人は、恐らく矢島先生の外にはないでしやうが、多くの老人がコウなつて吳れると、社會がドレ丈け進歩するか知れない。

（二）森村市左衛門さん

矢島さんの文を讀んで間もなく、私は『新世紀』誌上で森村市左衛門さんの『女子教育と新しき女』を讀みて、非常に愉快を覺えました。曰く

△眞に彼國の男子が女子を尊敬し靴紐を結んでやりコートを持つてやる意味を深く研究せればならない。私に云はすればコートを持つてやり靴を結んでやらればならぬ理屈だ。彼國の婦人は人格が高い、だから夫を持てば夫の名譽を增す。智識がある、だから夫の爲めに相談をうけ解決と助力を與ふるに充分だ。若し夫れ夫の爲めに全身の愛情を捧げて慰安し勵まし至れり盡せりの心をそゝぐ。私は成ることなら其那にされてるのだから結んでやるどころか貢ふてやりたい。勿論歐米の婦人が一から十まで然かるにあらざることは勿論で我國にも偉大なる婦人の產出し、又存在せるを否定し得ないが我國の隆盛と繁榮を思ふや、日夜に苦心のあるところなるが故に一層家庭問題と女子教育とを根本として日本が解決せればならぬ第一のものと信じて居る。

△私は四十餘年來米國に往來して居るし、又店も出して居るから米國人の心底をよく知つて居るが、世界の興亡が如何なる原因に存するかはよく呑み込んで居る、世界的である國は必ず隆盛となり又世界的の人類は優等人種となる。卽ち常に達觀と覺悟とが人格の向上となり、人格の向上は――國の祝福を來たす、而して其の根本は全く婦人問題の解決であつて、女子に最高の智識を與へると云ふことに依りて總てが解決せらる斯くして眞に新らしき女が生まれ、道德の權威が社會に確立される。我國にて最も眼につくは異性間の秩序がないことである卽ち女子が自覺せず奴隷生活に甘んずるが故に道德は社會的でないのだ。歐米諸國の如く婦人の自覺と尊敬が保たるゝならば我國も事實上世界列強の班に入り得る云々。

人は必らずしも年齢と共に老いるものではありません、矢島さんや森村さんがソレを證明して居られます。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本女性史（三）

新眞婦人社編

四　足利時代より豐臣時代の末まで

前號では鎌倉時代の末まで書いたが、本號に於ては足利時代より豐臣氏の末に至るまでを概括して、婦人の狀態を書いて見る考へである。

さて此の時代の男は、たゞ戰爭を之れ名譽として女子に近づくを恥とするに至つた。ソコで女を輕蔑し、女を幽閉するの風が、鎌倉時代に於てよりも、更に一層甚だしくなつた。されば此の時代の女の中には、おとなしいことは極めておとなしいが、實は知識も見識も何もない、宛ら人形のやうな者も增へて來た。而して又此の時代には政略結婚、掠奪結婚などがナカ〳〵行はれたものであるらしい。

例へば豐臣秀吉なぞも、掠奪結婚をやつた人である。織田信長の妹、小谷の方、淺井長政に嫁して三人の女子を擧げ、長政滅亡後柴田勝家に再嫁されたが、秀吉も此の後家を我が妻に爲やうとした競爭者の一人で、（お寧といふ本妻もあるのに）其の柴田へ輿入の途中を、兵力を以て奪はうとした。其後秀吉柴田と此の小谷の方を攻め殺して後、彼の三女を引取り、己れの手許に育て上げ、遂に其長女を納れて妾としたのが卽ち淀君でないか。又淀君に次での思ひもの松の丸殿といへるは京極高次の姉にて、もと武田元明の室であつたが、元明を打滅した後取つて妾としたので、是れ又た敵筋ではないか。若狹の武田を亡ぼしたるは丹羽長秀なるも、敵筋とはいへる。

更に又コウ云ふ話がある、細川忠興夫人は、其の館の中に、地震の間と云ふのを設けてあつたソウな。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

而して此地震の間に就ては歴史に斯う書いてある。
地震の間と申候て、八疊敷に座敷を拵へ、四方の壁に鐵砲の藥を紙袋に入れ、懸け並べ置き候て、何時も大地震ゆり候はゞ御内儀右の座敷へ御入り候て、燒け果て候筈に不斷の仕置にて候。
併し之れ丈けでは、何んのことだか薩張り分らぬ、よりてダン／＼調べて見た所、ソウとは云へぬから地震の間と稱したが、實は秀吉のイタヅラに對して夫人の節操を保護する爲めに設けられたるものであつたと云ふではないか。

ソレから又、德川時代までは、妻妾の區別が劃然として居なかつたもので、世繼の男の子を產んだ女が本妻として威張れたものぢやソウな、全くの一夫多妻であつたものぢやソウな。

けれども尙ほ德川時代に比べると、女に自由のあつたもので、今から見ると女は隨分活潑であつたらしい。先づ其の氣力の一端は、巴、板額の如き勇婦となつて現はれて居るし。又落城と云ふ樣な場合に乳母が主人の幼兒を抱きて、後門より落ち延び、千辛萬苦に堪へて、再擧中興の種子を保護すると云ふ樣な、所謂乳母氣質となつて現はれて居るし。又關が原の戰爭の時に大垣城に籠城した一人、石田の家來山田吉曆の娘『おあん』が、後に書き殘した『おあん物語』の中に

味かたへ、とつた首を、天守へあつめられて、それ／＼に札をつけて覺えおき、さい／＼首におはぐろを付けておじやる、それはなせなりや、むかしは、おはぐろ首は、よき人とて賞翫した、それ故白齒の首はおはぐろを付けて給はれと、たのまれて、おじやつたが、首もこはいものでは、あらない、その首どもの血くさき中に、寢たことでおじやつた云々

と書いてある。女も時代の子である、戰國時代を去ること遠からぬ當時にあつては、女も生首に對して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

平氣であつたものと見える。

更に又、余は此の時代に『後妻打』と云ふことが行はれたのが非常に面白く思ふ。谷口政德氏の著『日本歴史の裏面』の中に

後妻打といふことあり、後には騒動打ともいへり離婚されし妻の人數を催して後妻の方へ亂入する一種の風にして、男子は夫といへども一切之に關涉するを得ず、戰國時代殺伐の氣昂ると共に此の俗ます〳〵行はれ生涯の中幾度後妻打にやとはれしなど迚、談る女さへありき云々

と書いてある。

澁柿園先生の話に

先妻は先づ女の方人を語らい、ソレから後妻に來る何日に亂入すとの手紙を出す、スルト後妻も同じく女の方人を集めて、亂入者を防ぐ用意をするさていよ〳〵其日となると先妻を大將とせる一隊は、手に手に、棒なり箒なりを携へて其家の臺所口より亂入する。後妻を大將とせる一隊は之れを拒みて、玆に鬪爭が始まる、血を見ることも珍らしくはなかつたソウな。さて鬪爭中に先妻の媒介者と後妻の媒介者とが出て來て仲裁すると云ふのが法であつた。

とのことである。

此の後妻打は云はゞ一種の女權運動である、去られた女房に同情して、其の後釜に這入つた女を憎む情から出た、女同士の力で女の位置を保護しようと云ふ、一種の思想感情の現はれであると思ふ。

此の時代に於てすら、コウ云ふ事のあつたと云ふことを、余は非常に面白いことであると考へる。

うれしさは葉かくれ梅のひとつ哉

夕顔に雜炊暑き藁屋かな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花

メーテルリンク

今朝私は花園に出て花を見、此の驚異の世界に就て大いに考へた。

△若しも花と云ふものを知らなんだら、人生はどうあつたであらうか。若しも花が地上から取り去られたら、人間の性格、道德心等に如何に影響が及ぶであらうか。

△成程太陽も、星も、月光も、大空も、海も、森も、河も、草木も、鳥も、寶石も、乃至は婦人も、吾々の眼に美觀を與ふるものに相違ないが、若しも花の溫柔なるなかりせば、私共の眼の教育が如何に鈍くるしく、遠く、又悲慘なるべき、ソレは殆んど想像の外にありはせぬか。

△若しも地上に花なかりせば、悅こびの感情は深く私共の胸中に眠つて、永久に覺醒せずに濟みはせぬか。

△香氣の玄妙なる天國あることを、私共に知らすものは、花の香ではない乎。之れが先づ私共に香氣の天國の門を開くものではないか。

△私共は又、花がなかつたならば、悅こびの感情を起さず、從つて其の感情を言ひ現はすべき言辭も工夫せず、此の點に於いて啞者であつたであらう。人類の有する言葉の中愛に關する言語は、大抵花に養はれたものである。愛の感情は小供の時より花を見て養はれた、否未生以前より父母の眼を以て見て養はれたものではないか。

と。私は斯く考へて居るから、私共人間と最も關係の古い花を最も愛する。永く私共と關係して來た花は、云はゞ私共の一部で、私共の精神の上に其の悅こび、其美の反射があるからである。併し此の古い花はダン〳〵消へ去つて、今日私共の目にする花は、比較的に其の歷史が短かいようである。ダリヤなどは百十餘年の歷史しか以つて居ない。

思ふに私共の父母の花園に咲いた花は、其の種類も少なく、其の花片も野生の花の如くに小さかつた者であらう。何んでも十六世紀の頃までは、如何なる貴族の花園と雖も今日の貧民の花園よりも憐れなものであつたらしい。併し文藝復興期が來たり、大發見が續出すると共に、人の目が開けて來て、地球の各所から種類の異なれる花を集め、次第に歐洲人の花園が豐富なることになつて來た。今日は最早や知れざる花はなきことゝなり、地球上の殆んど凡ての花は私共の知り得ることゝなつた。此事が將來人民は何れも平等なる幸福の生活を送れると云ふことを豫言せるが如くに見える。私共は今花の美より云ふも、種類の多きより云ふも、前人に優つて居るが、此の事は私共の社會生活が次第に美しく、幸福に成り行くことゝ相應じて居るから面白い。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をかしけれ

小口みち子

悉くみなおかしけれ人形と、
　猫と蛇との靈なる女。
笑ふこと否め褒似の四五人の、
　手にくつがへれ城百二百。
昔より花と女の我儘に、
　春の雨こそ笞とぞ降る。
たくましき腕よ何をくだくべき、
　女よさゝげ物もて來れ。
やごとなき人のみ魂が此世さる、
　夜ともおぼろに鐘なりひゞく。
みめかたち女となりてくちなはが、
　はらばひまわり冷き火ふく。

味氣なや煙草くゆらし芝居見る、
　心地に落つる涙を見つめ。
見しところしだれ柳はよけれども、
　妻や娘や枯木の並木。
我心とけず流れずかたまりて、
　水晶となれ紅水晶と。
髮曳きてたま〳〵雨のふる夜など、
　香たきながら夢見て居らむ。
春の雨心の土に我まきし、
　「憂」と名よぶ草こそ生ふれ。
金魚こそ孑孑はみて知らぬ氣に、
　よそほひこらすたばかり者よ。
春にさく櫻となるを口惜しがり、
　すれたる女、柊となる。
頓死など百合がくづるゝ形など、
　皆君によし美婦人によし。
烏羽玉の髮にひすゐの露ぞうく、
　女囚ながらに美しき人。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

座古愛子姉の事ども

安達生

一

新しい女、醒めたる女、自覺したる女、斯うした言葉は其の内容の如何に依つて善い意味にも取れるが、惡い意味にも讀める。徒らに男子に反抗して、『男のすなる放蕩と云ふものを女もして見んとてするなり』と云ふ樣な女が新しい女なら、私は新しい女が嫌ひだ。

自己の人格を意識し、其の天分を自覺して、人格の尊嚴を維持し、天分を完ふするために正義と公道の上に立つて、頑迷不靈な古い社會を相手に戰ひ、一面横暴なる男子と戰ふと共に、一面眠れる同性の自覺を促すために、堂々戰陣を張つて主義主張のために奮鬪すると云ふのが、新しい女なら、私は而う云ふ女の一人でも多く今日の社會に現はれんことを願ふて止まない。

由來婦人の運動は婦人自身に於て解決せぬ間は永久に其の目的を達する事は出來ない。此點に於て新らしい女の運動は男子に對す反抗よりも、先づ女自身の自覺が先きにならねばならぬ。

而うして自覺は凡て信念から來るものである。

二

此の意味に於て私が茲に紹介せんとする座古愛子姉の如きは亦新しい女の一人に數へることが出來るかも知れない。少くとも新しい女に紹介する價値ある女であらうと思ふ。

座古姉は基督教者である。『伏屋の曙』や『みつばさの影』などの著書で、基督教界には多少名の知れた才媛であるが、本誌の讀者には未だ其の名さへ知らない人があるかも知れぬ。

然し、幼にして兩親を失ひ、家貧しくして、學校教育とては僅々二ケ年の貧民夜學校に通ひしのみにて、稍々長じては女中奉公をなし、或時は藝妓に賣られんとし、又は娼妓になれと强ひられ、備さに

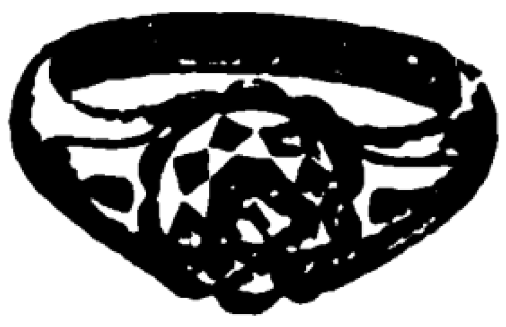
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天賞堂製作品之内金製指環價格一斑

(C70)

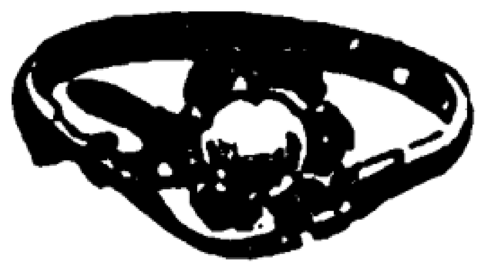
ダイヤモンド入
十八金製價千九百圓

(C 1)



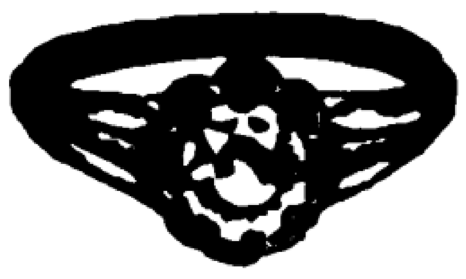
ダイヤモンド入
十八金製價六百圓

(C19)



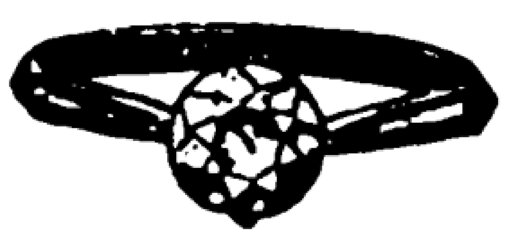
眞珠入十八金製
價十圓

(C65)



ルビー入十八金製
價八圓五十錢

(C90)

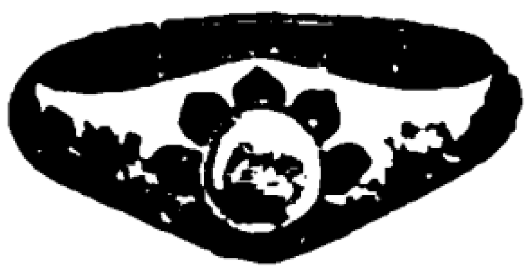


ダイヤモンド入
十八金製 價二百五十圓

(C167)

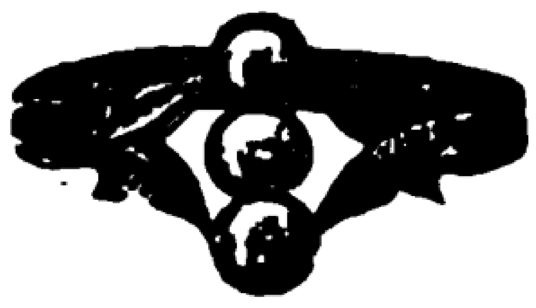
ダイヤモンド入
十八金製價卅五圓

(C153)



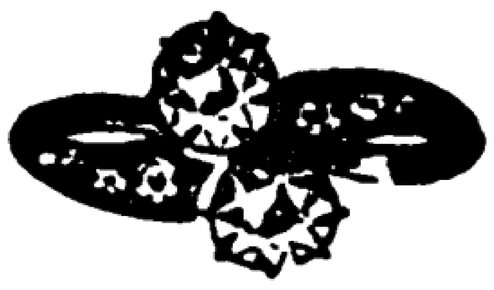
眞珠入十八金製
價四十二圓

(C48)



眞珠入十八金製
價十三圓五十錢

(C69)

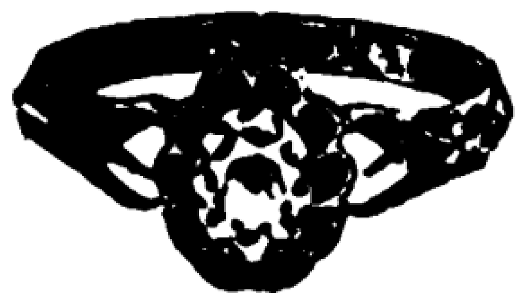


ダイヤモンド入
十八金製 價三百六十圓

(C159)

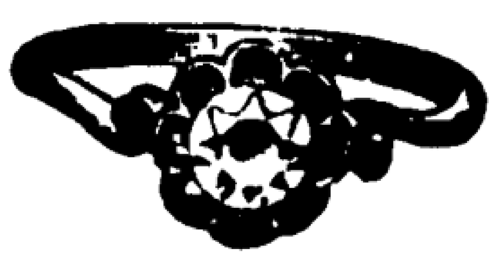
眞珠、ルビー入
十八金製價十二圓

(C 0)



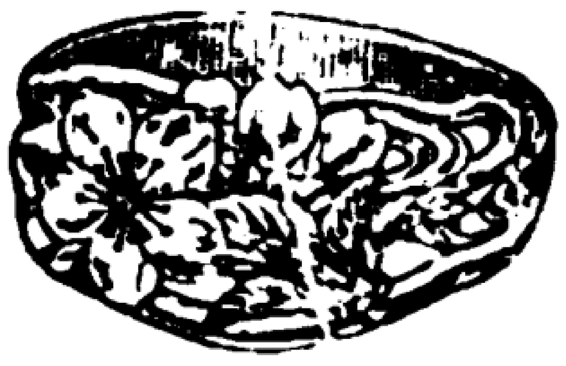
色サフャ入十八金製
價十二圓

(C51)



色サフャ入十八金製
價九圓

(C76)



廿金製高彫
價十九圓半

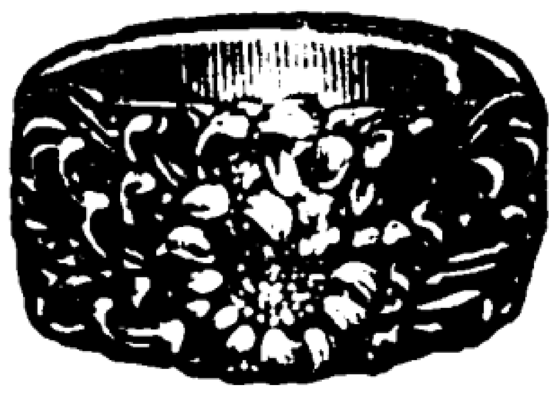
(C62)

純金製高彫價廿六圓

(C59)

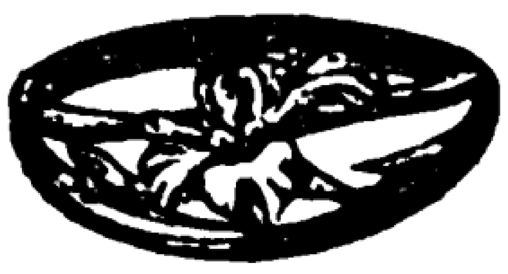
廿金製高彫
價二十圓半

(C24)



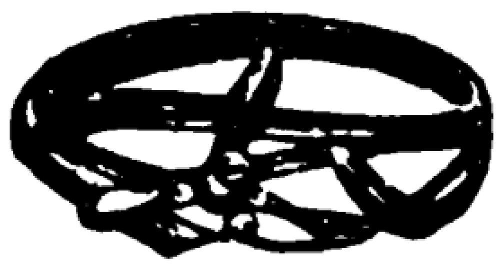
純金製高彫 價卅六圓

(C118)



二十金製透高彫
價八圓

(C 4)



二十金製透彫
價八圓

本圖は本堂諸工場に於て製作せる多數の指環中其一斑を掲げて代價の標準を知るの一助となせるのみ此他襟掛、簪、櫛、笄、襟針、襟留、帶締、羽織鈕、時計鎖、同提物等に至る迄悉く時流の粋を抜き品質の優秀と價格の低廉を旨として斯界先覺の實を擧げつゝあり冀くは愛顧諸君陸續高需の榮を賜はらんことを

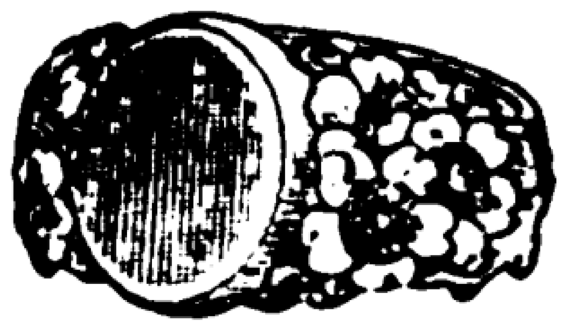
天賞堂本店

東京市京橋區尾張町二丁目

電話新橋特三三三、三三四、五七〇、三一五三

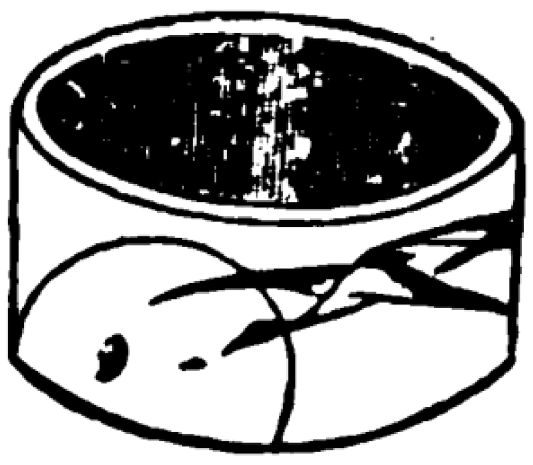
大阪心齋橋支店 ● 横濱常盤町支店

(C145)



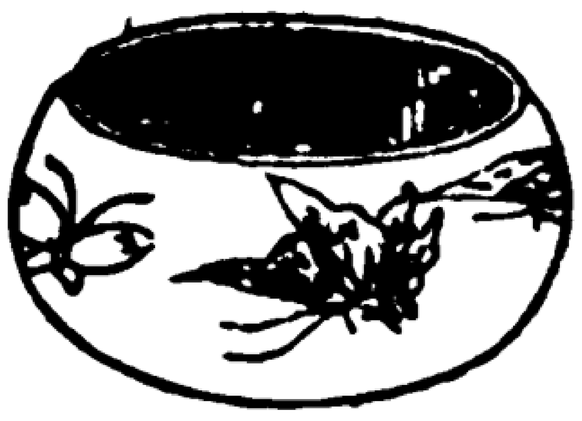
廿金製高彫
價廿一圓七十五錢

(C112)



廿金製價十七圓四十錢

(C128)



廿金製片切彫刻
價十四圓

(C95)

廿金製高彫
價十九圓四十錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

● 第參回新學期開講＝會員大募集（目下入會者には特典あり）

文章は經國の大業
不朽の盛事也

普通作文速成講義

男女須らく學ばざる可らず、然かのみならず文章は能く其の人の人格を語り才智學力を表現す、故に商人は其通信文を以て相手の人物を判斷し、商務の整否を看破す、又求職者の書信にして一の破格なるものあらんか、彼が如何なる履歷あるにもせよ、採用者は必ず惡き意味に於て反省すべし、實にこれ其の人の長き生涯を通じての一大弱點一大損失にあらずや。卽ち活社會に志あるもの益々文章を學ぶの要を見る。

本講義錄の**特色**は徹頭徹尾**實際的**にして平易に、讀んで必ず理解して每日の用に供せしめ、且つ**形式內容**共に現代的なるが故に**眞に生きたる文章習練**は本講義錄に依るの外に道なからん。今や全部完結して基礎硬固、乞ふ先づ端書一枚を費して見本を請求せよ。

東京小石川大塚上町　**作文速成學會**　振替東京二二八〇番

理想的新婦女雜誌

大正婦女社會

七月號概目

毎月一回 一日發行

定價 一冊拾五錢 半年分前金八拾五錢 一年分前金壹圓六拾錢 外に郵料一冊壹錢五厘

◎者のよしあしの見分け……東帝大教授理學士 岸上鎌吉

▼衣服の手入……井上秀子

▼流行夏着……飯野 三越店員

▼新案バック……倉持商店主

▼玩具の選定……幾度 三越店員

▼アイスクリーム……澤村農學博士

▼キャベージ料理……一戸伊勢子

▼食物腐敗と罐詰……菊池艮樹

▼齒牙の衛生……大澤齒科醫

◎地方風俗奇談（關東名物夜祭）……一記者

△西洋婦人風俗のいろ〳〵……東京外國語學校教授 淺田榮次

◎日本婦人と英獨婦人……精華高等女學校主 寺田勇吉

△英國に於けるあはれむべき少女……東女高師教授 宮川壽美子

◎米國婦人の交際振……米國文學士 山下彌七郎

△西洋人は嘘を言はず……東帝大講師文學士 堀謙德

◎透視と千里眼……東帝大講師文學士 村上辰午郎

△避暑地の選擇……東帝大講師文學博士 加藤玄智

◎暑中休暇注意……成女高等女學校長 宮田修

△婦人と信仰……東京遞信管理局長法學士 棟居喜久馬

▼通信講話（其二）……安田 麴町郵便局長

▼交換手……西脇 中央電話局長

▼婦人販賣員……濱田 三越店員

▼他愛……三輪田 文學士

▼田舍の女學生……大原文子

▼睡眠剤犯罪……橋爪 麴町警察署長

▼馬の足音……須藤 獸醫學博士

▼愛兒動物……石川 理學博士

▼あぶらむし……佐々木 理學博士

▼講談姉妹仇討……龜甲齋白若

△小說 漂泊美人（主人公は日本婦人 舞臺は世界海陸）……岡田朝聲

發行所 東京市麴町區下二番町七十番地 大正婦女社會

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

七月號要目

世界之日本

每月一日發行

定價（一部金十錢税一錢・半年金六十錢税不要・一年金一圓二十錢税不要）

●不埒なる電燈會社の合同計畫……世界之日本社長 橋本徹馬
▼原敬、元田肇、山本達雄等の奸策
▼佐竹作次郎の言ひ草
▼安田善次郎の面の皮

▲純正貴族主義と徹底平民主義……世界之日本記者 坂本正雄

■時事評論……大隈伯爵

■松田正久と語る……一記者

▲老人萬能の實業界

■原敬論……大木伯爵

■宗教坐談……早大教授 永井柳太郎

●政界横斷論（二）老人の罪か青年の咎か……立憲青年黨幹事長 橋本徹馬

■今後の政治家……

■イブセン論……幹事長 橋重兵衛

▲實業界に入らんとする青年に告ぐ

■世界の大勢……一記者

■社會の出來事……一記者

■紫式部と清少納言（論）……さわらび

■叢より（詩）……大河の岸人

■謹んで婦人連の御名論を拜見す……世界之日本記者 坂本正雄

●横暴なる會社工場征伐……社說
▲農商務大臣に與ふ
▲各紡績會社重役に與ふ

發行所 神田區西紅梅五番地 世界之日本社 振替東京二六八六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界雜誌

（毎月壹回一日發行）定價一冊郵稅共金拾六錢（半年八十六錢 一年一圓六十二錢）

七月號要目

◎心中の閥族……尾崎行雄

▽日銀總裁三島彌太郎論……鵜崎鷺城

▽現內閣の瓦解と民黨合同……衆議院議員 相島勘次郎

▽列強の軍事費と其兵力……

▽馬骨先生雜記……

▽無底洞夜話……衆議院議員 菊池武德

▽註文十則……

▽ロイト、ジヨージの財政策……

▽羊頭狗肉の整理……衆議院議員 田川大吉郎

▽陸海軍大臣官制問題……衆議院議員 林毅陸

◎自叙傳――少年時代の追憶（二）……尾崎行雄

▽有害なる國體研究……法學博士 江木衷

▽觀樹將軍時局談……子爵 三浦梧樓

▽正傳訛傳……

▽公開狀……

▽時事漫畫（十面）外寫眞多數……

社說

▽制度整理の出來榮 ▽對支會と外務當局 ▽兵器會社の官憲 ▽政治思想普及の一方便

▽軍國主義の弊 ▽太平洋畫會 ▽不見識なる國民 ▽客車を二級制とせよ

▽孤兒殖民 ▽電燈問題 ▽農村問題 ▽陳言

◎世道人心に及ぼす政治家の進退……法學博士 浮田和民

發行所 京橋區元數寄屋町三丁目一番地 世界雜誌社 電話新橋四一二番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大内靑巒先生著　▲結城素明畫伯挿畫

禪の極致

三六版美本
定價六十錢
郵稅八錢

不立文字の敎理も、文字に依らざれば知ること能はず。以心傳心の妙講も、言語を離れては傳ふること能はず。但惜しむ、古來禪を說くもの、徒に難解の語句を弄して、人をして愈々出でて愈々迷はしむることを。大内先生學深く德高く、敎禪二面に於て、眞に現代の達人たり。殊に先生、平談俗語を以て、幽玄の理を說き、深遠の法を語ること、殆ど天下獨步、而して本書は卽ち先生得意の、作禪の極意、正にこれに盡きたりと稱するも、敢て溢美にあらざるなり。附錄「五位頌講話」、また先生獨創の見識を以て、縱橫に講解す、蓋近來の大文字なり。

曹洞大學敎授忽滑谷快天先生著

達磨と陽明

定價七十五錢
郵稅八錢

加藤咄堂先生和譯

和譯維摩經評註

定價七十錢
郵稅八錢

東京小石川原町六　振替東京一五六八六　**丙午出版社**

東京小石川原町六　振替東京一三五三　**鷄聲堂**

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第三十三巻 第七號

六合雑誌

定價一冊金貳拾錢 半ケ年一圓十五錢

七月要目

新生活の第一歩……内藤濯
超人道徳論……野村隈畔
自我と信仰……稲毛詛風
海外思潮……記者
時評……同人
着港前（散文）……有田四郎

都會詩人ブロック……昇曙夢

婦人問題

生命の源、文化の泉……内ケ崎作三郎
佛蘭西現代婦人の人生觀……笹川潔
佛耶兩教の婦人觀……三並良
泰西偉人の婦人觀……うちがさき
勞働問題より見たる婦人問題……鈴木文治
婦人問題の根本的解決……安部磯雄

反抗（戯曲）……内藤濯

青き紘（創作）……吉田紘二郎
銀影歌（歌）……野口精子
西灘より（詩）……伊藤寥々
白薔薇（短歌）……佐藤清
靈魂の花（詩）……藤井夏人
ペラゴニア（創作）……加藤一夫

發行所 東京市芝區三田四國町 六合雑誌社 振替東京 一〇〇〇三

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顔の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尚ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區竹川町一二

理容館

電話新橋一五一九

振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世の不幸を嘗め、人情の冷酷に泣き、剰へ妙齡十八歳の身を以て四肢不隨の重患に罹り、病臥十數年、幾度か厭世死を企つるに至れる者が、一度宗敎の光に接し、飜然大悟して樂天感謝の生活に入るや自己の胸中の喜悦滿足を人にも知らせんものと、無學の一婦人が黽勉努力して遂に斯かる大著をなすに至つたと云ふ話を聞いたならば、恐らく何人も其の人と爲りを知らま欲しく思はぬ者は無いであらう。

三

座古姉は明治十一年十二月の末つ方、神戸は今の東川崎町、其頃唯新田と云つた淋しい濱の貧しい割長屋に呱々の聲を擧げた。

是れより先き姉の母は夫の不身持に堪え兼ねて、自分の母——愛子姉の祖母に當る——と其頃五才になる姉の兄なる人とを連れて夫と離緣したが、其時既に愛子姉を懷姙して居たので、激しい勞働も出來ず、自分は手内職などし、姉の祖母なる人は屑買ひなどして細い生計を立てゝ居た、愛子姉は斯うした中に生れたのだ。

其後姉の母は病院の看護婦などして一家を支へて居たが、姉が五歳の時二人の兒を連れ子して今の父の許に嫁ぐ事となつた。而して一時家業も榮えて可成の暮しをなして居たが、其後火災や、一家擧つて腸窒扶斯に罹つたりなどして引續く不慮の災難に同家は復も不幸の淵に沈むこととなつた。而して學齡に達しても尙ほ學校に行くことも出來ず、晝は鳴行社と云つた燐寸製造所の燐寸箱張りをなし、夜は其鳴行社の夜學校に通つて僅かに小學の課程を學ぶ樣な始末であつたが、不幸なる同姉はそれさへ滿足に受けることが出來ず僅か二年間通學したのみで退學の餘儀なきに至つた。

然るに不幸は尙ほも姉に付纒ふて離れず姉が十二歳の時に祖母は老病にて此世を去り、間もなく姉が杖とも柱とも此世に賴る者とては彼一人より外なき

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

所の母は産後の日立ち悪しくて、愛する子を後に此世を先立つたのである。

父てふ人の顔さへ知らぬ姉は今や其の母と別れて全く孤兒の身となつたのである。

四

其後姉は或は茶焙じの工場に通ひ又は他家に下女奉公などして一二年を過したが、姉が十六歳の時世話する人ありて、女は氏なくして玉の輿と云へば一つ藝妓になつては何うかと云ふ養父も其の氣になり既に藝妓に賣らるゝ所を五年の契約は餘りに長いと云ふので此話は一先づたち消えになつた。

然るに姉は天性怜悧にして、容貌も醜くからぬ方なれば、其の家の貧しきにつけ入り其後姉を或は藝妓に或は娼妓にすゝむる人あつて、姉は實に幾度か彼の恐るべき魔界に引き入られんとしたのである。

或時は大阪松島なる東京樓と云ふに藝妓に世話せられ、お目見え迄済んでいよ／＼稼業につかんとすると、主人は藝妓でなく娼妓になつて呉れぬかと云ふ。乃で之を聞いた座古姉は俄かに吃驚して、斷然主人の請を拒絶し、懐中僅かに二錢の貯へきりないので大阪から神戸迄十里の道を女の足を徒歩にて歸つたこともある。

又或時は神戸のとある料理店に奉公して居つた時、朋輩の某と云ふ女にだまされ姫路邊に行けばモツト善い奉公口があるとのことで、二人で姫路へ行つて見たが思ふ樣なる奉公口もなく、とかくする中に旅費もなくなり、宿錢も拂へぬ始末に、困つて居ると之を見て取つた宿屋の女將は忽ち惡心を起して姉等二人を娼妓に賣らんとしたが、之もさる同情深き同宿の人に因つて救ひ出されたのであつた。

又或時は今度こそは愈々藝妓にならんと自ら決心して、世話する人の云ふがまゝに岡山なる某藝妓屋に行つたのであるが、豈計らんや行つて見れば、二枚鑑札とやらにて藝妓と娼妓の兩の稼業をするのだと云はれて、姉は重ね／＼の不幸不運に心も心ならず遂に意を決して一夜秘かに其家を出奔して神戸の我が家に歸つたのであつた。

五

嗚呼姉は此の如くにして幾度か虎口を逃れて僅かに其の節操を保つを得たのであるが、天何ぞ姉を禍

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

するの爾かく大いなるぞ。姉は其の十八歳と云ふ娘盛りの年に、重症リョーマチスの襲ふ所となり、種々手當もなしては見たが、貧民の不幸にはそれもまゝならず、病は遂に膏肓に入て、姉は遂に再び起つ能はざる四肢不隨の身となつて了つたのである。

されど神の攝理は我等之を信せざるを得ぬ。

『耶蘇行とき生來なる瞽を見しがその弟子彼に問て曰けるはラビ此人の瞽に生れしは誰の罪なるや己に由か又二親に由か、イエス答けるは此人の罪にあらず、亦その二親の罪にもあらず、彼に由て神の作爲の顯れんため也』。

座古姉の病も亦是と同じであつた。

六

茲に圖らずも姉が基督教の光に觸れる機會が來たのである、それは斯うである。

姉の實母の死後、姉の養父は更らに後妻を娶つたのであるが、其の養父の案外親切なるに似ず、養母なる人は兎角姉を疎ずるより、愛子姉の身に就いて父母の間に爭が斷へなかつたのであるが、或日又例の如く二人の間に爭起り、父は怒つて母を追ひ母は表に逃げ出した。折りしも通りかゝつた一人の紳士が其の仲裁をなしたが、其時父なる人は紳士に向つて禮を述べ且つ語つて『あれに臥し居る病人は私の實子ではありませぬが、かく難病に罹り居れば私が不憫に思ふに、家内は兎角それを疎む故只今の如き次第に致つたのであります』と語つたので、紳士は種々病める愛子姉を慰め且つ母の不心得を諭しなどして歸つた。所が其の翌日に致つて昨夜の紳士は夫婦連立つて座古姉を見舞はれ、以來或は金品を惠み又は藥禮などを支拂ひくれなどして、其の親切は骨肉も尚ほ及ばざる程のものがあつた。

而して此紳士こそは目下米國加州大和殖民地の開拓者として且つ熱心なる基督信者として知られたる奥江清之助氏、其の人であつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯くして座古姉は奥江氏夫妻の同情に因つて初めて基督教の光に觸れ、間もなく洗禮を受けて信者となつたのである。

七

以來十有五年、姉の信仰は頓みに進み、涙は化して微笑となり、不平は感謝となり、今や姉の病床を訪ふ者は姉を慰めんとして却つて姉に慰めらるゝ樣な奇觀を呈して居る。而して姉は此の喜悦を世の不幸なる多くの兄弟姉妹に知らせんものと、病床、志を立てゝ文筆の業を學び、或は書簡により、新聞雜誌に因り、又は著述によつて盛んに傳道をなし居るのである。

其の身體の病も今は固疾となつて全く自由を失つて居るが、同時に痛みも亦去つてさ迄の苦痛を感せぬのである。

八

私の座古姉を知つたのは明治三十九年、姉が初めて『伏屋の曙』前篇を公けにした時で、姉が二十九歳、私が十九歳の時であつた。以來七年、其間私は姉の同情と慰めとに因つて幾度か折れんとする志を勵まされたか知れぬ。

姉は天性極めて快活な質で、殊に基督者となつてからは其の生命に充ちた元氣は實に健康者を凌ぐものがある。

私が曾つて神戸に姉の伏屋を訪ねた時、『姉さんは斯樣病氣にでもならなかつたら嫌だ嫌だと云ひながらも今頃は藝者にでもなつて居たかも知れないね』と云て笑つたことがあつた。容貌の美しい上に、歌など歌ふと實に善い聲で病人の歌の樣には聞えぬ。

非常に新しい思想を持つて居て、基督教の堅い信仰の上に立つと共に、世の所謂新思想にも深い同情を有つて居る。其の文章亦流麗にして、殊に幾多實驗の門をくゞれることゝなれば其の謂ふ所常に力と熱に滿ちて居るのは驚くばかりである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雜感

ふみ

小供がいくら可愛いと云つても、花がどんなに美くしいと云つても、終日爲すこともなく、小供の守をしたり、花を眺めて居つては、うるさくもなり、平凡にもなるでしやう。猶更業務とか仕事とかにのみたづさはつて居れば、疲れたり倦じたりするのはもとよりで、多趣味、多様にするのが人の世の尤も幸福な上手な生活方法だと感じます。私は雜誌を發行する様になりましてから、眞實小供の可愛さを味はふ事を得ました。一體私は以前にあまり子煩惱でなかつたのかも知れません、が、ア、うるさい〳〵母親と云ふものは全く子供の爲めの犠牲にされねばならぬ、こんな人達がうるさく云ふものだから思ふ様な事も出來ぬのだとつく〴〵恨めしい位憎くさへ思うた事がありました。それが此の頃では外出して歸る時、小さい人がどんなに遊んでゐるか、母さん〳〵お歸りなさい〳〵と迎へて呉れるのが無上にうれしい早く見たい。又庭の種蒔の草花が生き〳〵と茂つて、買つて來た鉢植ものとは違つて如何にも雫の滴る様に青々して居るのを見るのも何とも云へぬほどうれしい。初めて家といふものゝ有がたさ懐かしさが知れたのです。私は八九年程以前にも暫らく新聞社の様な共同生活の中に暮して居た事があります。その時には社に居る時は何不足なく面白く思ひますが、一旦外出して歸る時には云ひ知らぬ寂さにうたれて、初夏の夕ぐれ數寄屋橋の袂や、冬の夜の日比谷の月影にどんなに涙ぐんだ事があつたでしやう。それは母の家、夫の家、子の家、自分の家に歸る様に、すがりつく程待つ人がないと云つた不安

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

な感じ、胸の空を感せずにはゐられなかつたのです。若いもの同志の生活には藝術家の專用する享樂と云つた樣な氣分、ソレは味はれるでしやうが、かうした不安はまぬがれぬのです。それが子供と云ふものを見る時、どんな心配苦痛があつても、平靜におだやかに落つく、云ひ現はす事の出來ぬ恩惠をそこに見出しました。

二三日前に外から歸つて來ましたら小さい人が初めて歌を歌ひ覺えて、切りに、ハ、ポッポ、ハ、ポッポ、マメエ、ヤーカー、オーテーコー〳〵とまめをやるから下りてこひを片言まじりに早口に節おもしろく歌ふて居りました。

婦人も活動的でありたい

吉川たつ子

私が明治二十三年に京阪地方から最初東京へ參りました時分は、此方は非常に質素だと思ひましたが此度又二十年ぶりに來て見て、婦人の着飾つて居る事、身分不相應な生活をして居るのにおどろきました。

女子教育家は地方の樣子を知らないから、女學校出の婦人は農家などへ行く事を嫌つて仕方がありません、いくら見えを張つてゐても日本はアメリカ等に比べると貧乏な國です、皆苦しいのです、ソレに女が消費する側にばかりたつて男にのみ働いて貰つてるのは惡い事だと思ひます。普通遊んでゐる人を貴婦人だと思つてゐるが私は國益を計り働いて居るものが眞の貴夫人であると思ふ。働く人自らもさう云ふ自覺をして自から卑下する事なく人に向つても

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

勞働を奬勵すると云ふ風にあつて欲しい而して其感情を根柢から打こはさねばならぬと思ひます。

折角男子が新事業をしやうと思つても、婦人がたが生活の安逸をばかり願ふ樣では、夫の精神を殺して了ひます、だから私は內助と云ふ事はたゞ物質上形而上の意味のみでなく、精神的に夫を活かして行かねばならぬと思ひます。所が今日の女子敎育が敎育ですから艱難を共にしやうと云ふ婦人が實に少なうございます。

私共夫婦は明治二十七年から千葉縣香取郡で大規模の農場を起しましたが、地味の選定を誤りましてソレは失敗いたしました、けれど今も吉川農場と云つて別の人が經營いたして居ります。三十七年から甲州の八ヶ嶽に參りまして御料地の拂下げを受けたり、買つたりいたしまして、養蠶や養蜂を致し自分も雇人と共に肥桶をかついだり、鍬鋤を手にしたりして十年間働いて參りました。併し困つたことには二里も行かなければ村もない樣な處で、小供を小學校丈けは通はせて、大風雨の日は宅で敎へなどして來ましたが、それ以上小供を敎育する事が出來ませんので、止むなく今回出京致しました。

最も私は必ずしも小供を中學にも大學にも入れて敎育をせねばならぬとは思ひませんが、併し八ヶ嶽に居りましては、何分少しも敎育などはして居られませぬから、止むを得ず留守を賴んでおきまして、出て參りました、開墾丈けは濟みましたものゝまだ月給を仕送る事にしなければならぬので、夫は上海で商館に勤めて居ります、又小供の爲めに佛領の南ニユーカルドニヤに參りたいと云ふ計畫もいたして居ります。

小さい貧乏な國で競爭して居ても仕方がありません、海外に發展しなければならぬが、ソレも男子一人ではなか〳〵困難ですから、婦人も共に移住して助けると云ふ風にしたいと思ひます。八ヶ嶽の方も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私ども個人のものにしやうとは思ひません、共にしやうとする同志の方があれば御一しよにしたい、又小供も事業を繼いですればさせる。南洋の方へでも發展すれば育兒院へでも何にでも寄附したいと思います。それに八ヶ嶽に温泉が發見されまして、將來非常に有望で御座います。私はどうしても婦人も生産的事業にたづさはりたい、そう云ふ趣味をすゝめたいと思います。

理容館訪問の記

一記者

電話で打合せをして置いたので、今日ばかりは無駄足をする心配もなく竹川町で電車を乗り捨て丶、理容館の扉をあけるとすぐ館主の遠藤波津子さんは、待つて居て下さつたので其儘二階の應接室へ通された。

新らしい化粧法に就いての御意見を伺ひ得たのは大要左の通りのやうな物でした。

私どもがかやうな營業を致し初めましたのは、丁度明治三十九年の夏で御座いました、其當時に於てこそ眞に新らしい化粧法の一つとして御紹介申上ぐるだけの自信も持つて居りましたが、今日に於ては決してもう新らしい事では御座いません、やゝ中古になつて參つて居りますが、それでも經驗と云ふ一つの滋味も加はつて居ります故、新らしくはなくつても眞實の價値は充分あると私は思つて居ります。

化粧法等と申す事は誠につまらない何でもない事のやうでは御座いますが、實際の上から云へば科學の一つとして取扱ふだけの價値は充分にある、又一つの美術として是れを見れば趣味の深い面白い物で御座います。私のやうに化粧をする事が一つの職業となつて居れば、六つかしい物又なか〳〵に苦しい物とも思はれるので御座います。

一口に化粧法と云つても大體に於て之れを三つに分けて考へる事が出來ます。

第一には英國式の化粧法——これは專ら生理的衞

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生的で御座いまして單に白粉やクリームをつけるに止まらない、日常の遊戯や運動にも意を用ひ、馬にも乘るテニスもする、體操も游泳もどん／＼する、矯正運動によつて身體の均衡を量る、三度／＼の食物にも出來るだけ注意をして夜は充分に睡眠をする心持を常に爽快にして物事を深く考へない、顏や手足の皮膚の清潔と美色を保つ事に注意する、衣服や持物の色の配合に恐ろしい見識をもつて居る、英國の少女が嚴寒の夜月の光をあびながら冷水浴をして居たのを見て震へあがつて驚いたと云ふ土産話を聞いた事もあります。更に此英國式に輪をかけた獨逸式と申すのがありまして、

冷水浴、微溫浴、溫浴、熱浴、海水浴、日光浴、大氣浴、砂浴、泥浴、泥炭浴、細管浴、電氣浴等と申して嗜好や體質に應じたそれ／＼の化粧を試みると申す事で御座います。

第二には米國式化粧法――これは極力器械を應用して技術を扶け、先づ電氣を用ひてマッサージをする、蒸氣を應用して氣孔を擴張させる、クリームによつて不潔物を溶解させる、つまりはこれも生理應用で結着する所は獨英式と似通た物で御座います。

第三には佛國式化粧法――牛乳を人肌程の溫度にして所謂牛乳浴を試みる、次にトイレットウオターを入れた微溫湯で更らに丁寧に洗面をする、クレームを塗つた上に化粧品店で幾百千とも數へ切れない白粉の中から特に其質と其色とが自分の皮膚にしつくりとあつた物を選んだのを用ひる、かうして置いて愈外出とか又は應接室で人と接見をする間際になつて綺麗にそれを洗ひ落す。

こんな思ひ切つた念の入つた贅澤な眞似な世界美人の本場である巴里では我も／＼と致して居るのださうで御座います。

女優の誰やらは小牛の生肉で絶えず其顏を抑へて居る等との噂も聞いた事が御座います。

在來の日本の化粧法等はとても是等に比べては御話にも何にもなりませんが、それでも又其中にはなか／＼捨てる事の出來ぬ立

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

派な理に協つた方法も品物も御座います。

英米佛の各長所を選りぬいて、それに在來の日本の化粧法を加味して、新日本式の化粧法を立派な物にし上げたい。

これが私の唯だ一つの希望で御座います、何の修養もなく又追追と老境に近寄つて參りましてとかく事が志と違ふやうな事が間々御座いますが、それでも熱心と誠意とを持つて進んで行けばいつかは、彼岸に達せられない事はありますまい。

私は明日毎年の例になつて居ります、少し自分の信仰のために、岡山方面へ旅行を致します支度の都合も御座いますから失禮致します、時間の御都合さへ御宜しければお試みに一同美顔術を遊ばしては如何で御座いませうと親切におつしやつた。

中年以上の婦人にあり勝ちな、嫌味や凄味のちつともない人なつこい方となつかしく思はれた、とう／＼歸る事が出來ないで私は美顔術施術室へ囚はれの身となつて終つた。以下次號

（未完）

蓮池の深さ忘るゝ浮葉哉

短歌

一等　神戸　川端津根

眞白きははだんきやうにてありにけむ、屋敷町なる姫路にて見し。

二等　東京　正親町ゆみ子

しら／＼と櫻こぼれていつしかも、春の夕べとなりにけるかな。

三等　大阪　藤井たね

ゆく春とくる初夏のさかひめに、咲くや牡丹の花のいろ／＼。

選外佳作

東京　正親町ゆみ子

一すぢに君こひわたる春の日は、君もしづかになみだし居らむ。

仄にもいつとせ逢はぬやさまきを、思へばうしや涙わき來ぬ。

藍いろの西の岬に灯のつきて、鐘おぼろにもなり渡るかも。

大阪　藤井ゝ子

初夏の野間の河原にたゝずめば、目に見ゆるものみな青々と。

月の夜は君を思ひぬ別れたる、日のおもひ出のうたうたひつゝ。

しと／＼と銀の小雨のふる夜には、暗き小窓に君おもふかな。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

神戸　川端津根

忘られじ海邊つたひに岡本の、梅見に行きし春の日の事。

選者

夜光る螢とならびめでらるゝ、つばらの其目美しさとて。

俳句

夏山茂子選

一等　　澤村園子

欄に誰が忘れ灯や水鷄啼く

二等　　稲葉茂子

薫風や鶴飼ふ庭の廣き池

三等　　吉原富子

雲の峰帆紅き船の後より

選外佳作

泣く兒あり罵る兒あり蚊喰鳥　　吉原富子

燭に照る背革の文字や草苺　　澤村園子

撫子や衣桁にかけし五つ衣　　同人

本堂の柱冷ゆるや寺若葉　　稲葉茂子

聲よきにひかれて踊更かしけり　　丹波貞子

旅笠に狹き山路や夏木立　　福田福子

奈良坂や塔見え初めて蟬の聲　　同人

ひたぶるに物の哀れや虎が雨　　片桐潤子

雨に暮るゝ蜘蛛の古巣や栗の花　　岩田登代子

と思へば窓開く女あり杜鵑　　岩谷勝子

卯の花の昔めきたる住居かな　　濱田直子

御佛の裏へ廻れば清水かな　　久米高子

亂れたる小鳥の列や春の雷　　山里絹子

梨壺に連歌の燭や時鳥　　川崎濱子

酒が酢となりし匂ひや五月雨　　石井邦子

歸り路に繪筆洗ひぬ夏の川　　小林愛子

聖堂の鐘鳴る涼し夏木立　　選者

手に取れば若きその日ぞ眼を過ぎぬ、なつかしきから山百合の花　　孤蝶

山百合やかほるところは蟬時雨　　孤蝶

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯だより

▲五月末より、宮崎樣は御夫婦で關西の方へ赴かれ、引續き御旅行中です、其の爲め本號には宮崎さまの原稿がありません▲木村さまは、六月七日に、研究會の中途で、汽車の時間だから仕方なく、退席して土浦へ赴かれ、今尙ほ同地に滯在中です、其の爲め本號には木村さまの原稿もありません△江木博士の談話筆記は、木村さまに書いて頂く筈でしたが木村さま御多忙で之れも次號へ延ばすことになりました▲第三回婦人雄辯會は、木村樣、宮崎樣御歸京の上で相談して是非七月中に開會致したいと思ふて居ります▲太陽の婦人號は一寸本號で批評しておきましたが、七月には中央公論の婦人號、六合雜誌の婦人號なども出るソウですから、次號で諸名士の婦人觀を一つ大に批評したいと思つて居ます。（文子）

婦人問題研究會

今後私どもは婦人雄辯會の外に、婦人問題を深く研究して居らるゝ先生方を御願して講演をして頂く事といたしました、その第一回を六月七日上野三宜亭で開きました生憎雨天の事とて御出席下さつた方は少なく婦人十四五名と男子二十名ばかりで御座いましたが別頁に掲載いたしました、高野先生のオリブ・シユライネルの御講演は非常に有益な面白いお話で御座いました。宮田先生の御病氣にて御出演下さる事の出來なかつたのは誠に殘念で御座いました。當日は宮崎樣も京阪地方へ旅行中でお留守で、木村樣も會場から土浦へ行かるゝ筈になつて居た爲め早くからそはそはして居つて、先生や會員の方に濟まないと氣兼ねしながら講演中に立ちました、後雜談に耽りながら七時頃散會して雨晴れの初夏の上野な池の端からそゞろ歩きながら四五人で歸りました。兎に角愉快な一日で御座いましたが、どうも御婦人の御出席が少ないので、次回には講師の外は出席者を婦人ばかりといふ事にしやうかとも思つて居ます。

新刊紹介

▲最近の肺結核療法　（柴山五郎作博士著）

肺結核の恐ろしいことは、何人も知つて居る、知つて居て其の豫防の方法を講ぜないのは怠慢である。又不幸にして肺結核に罹りたるものが、初期に於ては、尙ほ療法あるを知らないで猥りに失望狼狽して居るのは、氣の毒なことである。であるから私共は此の書の一讀を廣く御スヽメしたいのである（一圓廿錢、神田區鍛冶町誠之堂發行）

▲ふるへる花　（原田琴子女子著）

琴子女史の歌四百餘首を集めたもの、女史の歌は『二十三はじめて眼こそ開きたれ君に驚く我に驚く』と云ふ調子です（六十錢淺草下平右衛門町田村書店）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東西南北

▲高島圓氏より　拜啓昨日の御會には是非出席御高說をも承り愚見をも申述べたく樂しみ居候處病人多きその上へまた〳〵姉が病臥致し候ため外出致し候事叶はず誠に遺憾やる方なく候。

本日の『朝日新聞』紙上にて御會の御樣子拜見致候處貴君のお話として『料理も裁縫も男の手を借りればならぬ女だけでは出來ぬといふことに氣がついた』とやうなること有之候が事實に候や、若しこれが事實だとすれば失禮ながらあまりに腑甲斐なき申分かと存候、貴君等の主張の主張として價あるところ實にこの男の力を借らないと申すところに有之この點頗る面白く感じ居りたる義に候、靑鞜社の諸君が婦人の地位を高めなければならぬ、婦人は男と對等でなければならぬと言ひながら演說會の如きも全く男の力だけで開けたといふ有樣に少なからず失望した僕は新眞婦人會が全く男の力を借らないで演說會を開いたといふことを頗る見上げたものだと思ひ候、然るに未だ幾何もなくして早くも既に降を男の軍門に乞ふが如き態度に出でられ候事甚だ意氣地なくも思はれてこれでは實は「たゞの女」と何の變りもなく、婦人軍の先頭に立つてこれを提撕し、警醒し啓發すといふが如き力を認め難く、從つて新眞婦人會存立の意義頗る薄弱と感ぜざるを得ず候、

婦人が男子の力を借りればならぬといふことは男子側の主張であつて、婦人側の主張は男子は婦人の力を借りればならぬといふにあられねばならぬことゝ存候、僕等男子側では裁縫でも料理でも悉く男子で用が足りる否男子の方が婦人よりは、そう云ふ小さいことにでも卓越した手腕を有して居ると申すのに候……このことは本月の『新佛敎』に揭げて置いた『高等師範學校廢止論』中に詳說致し置候。

主張の變るといふことは進步を豫想して是認すべき義には候へ共若し退步の時主張の變化せる場合は斷じてこれを許すべからずと存候、今日の新聞紙上報ずるところの如き若し誤りなしとせば確に貴君の主張は退步したるものに候、退步して僕等の主張を迎合せられたものと見るべく候折角日本の婦人界も色めき渡らむかと樂しみ居たるに靑鞜社の諸君早も活動を休止し新眞婦人會の諸君亦此くの如き態度に出づとせば日本の婦人運動は今後あまり多くは期待すべからざるが如くに存ぜられ候、嬉しいやうにもあり寂しいやうにもあり大山鳴動して鼠一匹の感も起り候、

無遠慮の雜言お氣にさへ給はざらんことを祈り上げ候。

高島米峰

西川文子樣

今日の所では婦人問題に就ても深く研究して居らるゝ先生は男の方に多いので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其方々研究の結果になる御意見を聞くのは決して退歩ではないと思ひます、私どもは從來の通り徹頭徹尾女のみにて活動いたしますが、研究會には男の先生も頼み講演を願ふ事にいたしました、又會員は無論女ばかりですが男の方にても婦人問題に眞面目に趣味興味を持つ方は客員賛助員にもする事にいたします。

▲寛潮氏より　婦人問題と云ふ事は私も研究して見たが、私は自分の實驗上に、立つて更に附言したい事がある。それは難しい議論的な事はおいて平易に云ふと、女が妻となつた以上、夫は妻を友人と見妻は夫の友人的な取扱におちようしにのつて妻から夫を友人の樣にしてはいけない又夫は妻に對して下臣的服從によいきになつて善惡共に絕對的に命令を發してはならない。之が實現されたならばほゞ新らしい平和な家庭が作られると思ふ。

處が妻は——女は情的にもろい爲めか、じきに友人あつかひに夫をして、つまらないことにまでザレル——語弊があるかも知れぬ——やうな風を見せ、眞面目と不眞面目、眞劍と笑談とをゴッチャにしやすいので衝突がはじまる、又夫——男は理性が強いので女を事務的に下臣的に命令なぞをヒチクドクあびせかけ、女をして反抗的に向はせる爲に下臣的とか、何とか云ふ樣な言が發せざるを得ない樣になつて來る、若しも夫も妻も男も女も自然のまゝの個性の發揮にまかした生活をするならば、圓滿な家庭と云ふ事は少なくとも不成立である自由に個性を發揮したならばそれは自我の發揮で自我と自我とは同性ですら衝突をまぬがれない、いはんや異性と何うして圓滿な融和が出來ようぞ。時折男の自我と女の自我との沒我的に進んで行かれば眞の戀愛でない樣に聞かされるが、然し之は一時的のもので眞に永續すべきものでないし、又されるものでない。若しされるならばそれは何等かの一宗教をまたねば不可能である。

若し貴社の同人が內面ばかりでなく表面にまで何等かの宗教的信念の下に『新らしい女』を主張せらるゝならば、それが眞に生くべく又力あるべき光ある主張だと信ずる、又眞の新らしい女だと信ずる私は貴社の講演會を聞かなかつたからそれは知らないが誌上ではどうも宗教と云ふ事がハッキリされてないと思ふ、貴社の眞意如何。

覚さんの夫婦關係についての思想はどうしても從來の舊思想で男子中心の立場から見た、女の癖に生意氣な夫を友人あつかひにする、癪にさわると云つた感情でそれは公平な道理ではないと存じます。

▲野村氏より　新眞婦人會の努力を祈る、先日の研究會へは是非にも參りたき心算に候ところ、大學の試驗中にて思ふが如

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

き餘裕出來ず其爲め失禮仕候惡からず、
日の新聞によれば來會者餘り多數にても候はざりしやに拜見致し候が、現代の婦人が自覺的意志の缺け居る事を表白せるものと悲しみ居り候、定めし御發起の方々の殘念さ如何、御察し申居り候さり乍ら數の多きは必しも喜ぶべき現象には之なく少數にても各自三人か五人かの覺信あれば勢力却て優るべく候。

▲森村市左衛門氏より　雜誌第一、第二拜見致候、猶御送付被下度候、私の願ひは以先人の望む名譽及幸福を皆捨未來國民の爲め神に誓て神の僕となりて至誠事に當る事を願ふ、女子必ず弱きものにあらず。

▲中島孤秋氏より　貴社連中の御働きは洵に敬服致します、私の識ある西川さんがいるから尚更嬉しい何卒今後一大奮然として屈せず撓まず婦人問題の前提に一大光明を輝かして下さい、併し今些し本誌を改良して紙質を好くして下さい、又記事中に凡俗な而も陳腐な者がありますから、そんなのを排してなるべく新らしい奇抜なのを願ひます、又寸鐵殺人的の者が好いと思はれます、冗長の者は私はとらないのです、そして西歐文藝が今少し新奇なのを採つて載せて下さい。

▲坂本正雄氏より　新眞婦人第二號待ち兼れて買ひ求め申候に、其翌日御送り下され、丁度箱根に行く處に候いしを以て箱根の女先生に差上申候ところ大變共鳴なされ居申候、先日の研究會に參られざりしは殘念に御座候、僕は女も男も眞面目に考へさへすれば必ず其の言ふ處歸一すべきを信じ申候女子を離れて男子の價値なきも、男子を遠慮して婦人の存在は覺束なかるべくと思申候。

▲宇多路氏より　第二號拜見、先づ全體に就て言へば甚だお粗末なと云ふの外はありません、いくら欲目に見ても、けれ共一度頁を繰つたらば其處に燃ゆるような皆様の想ひと柔い心地よい感情とを認むるに吝ならないので御座います、私は將來により多くの期待をもつて居ります。

▲宮田修先生より　（名古屋にて）
日々の霖雨誠に鬱陶敷い事でございます、今日は親しく會員の方にお目にかゝり御説を承ろのを樂しみに致して居りましたが、昨夜來胃腸を害し外出も甚だ困難のため學校も休んで療養中の次第、随つて切角の御約束を果すことが出來ませんのは實に遺憾ですが次會を期し本日は缺席致しますどうか事情御察し下され、御手順を狂はせました罪は何卒御寛容下さい、何れ兩三日中には全快の事と存じますから其内改めて貴意を得たいと思つて居ります、なほ會員の方々へも宜敷御傳聲下さいまし。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊紹介

▲扃ある窓にて　らいてう平塚明子女史の『圓窓より』は發賣禁止になりましたが、其中より其筋の忌諱に觸れた部分を除き『扃ある窓にて』と改題して、今度出版されました。卷頭の『元始女性は太陽であつた』を眞に面白く讀みました。（九十錢、京橋區檜物町三東雲堂發行）

▲近時の婦人問題　博文館が今回『太陽』の臨時增刊として『近時の婦人問題』を出して吳れたのは、兎も角も婦人問題に對する智識を普及する上に於て、有益な事で、私共婦人問題に盡して居る者の感謝せればならぬ事である。併し婦人問題に對して全然智識のない人や、境遇上紋切り形の愚說しか吐けぬ人の說を、大分、此の中に混じ。當今の名士中 婦人問題を熱心に研究して居る人を、二三ならず洩らしてあるのは、私の頗る遺憾とする所である。例へば新しい女を脫線した女と位にしか解して居ない 樣な淺薄な說や『夫れに就ては別段考へた事がない』といふ人の御座なりの談話や、乃至は『日本の如き毫も內部の必要から起つたでなく、單に奇を好むものが 婦人問題の 皮相を眞似て起つたのであるから、其の病的なるは當然のことと謂はればならぬ』と云ふ某博士の妙說や（必要のない所には、どうしたとて起るものでない、奇を好んでするものだらうと云ふのは近いものは、悪く考へる、人間の弱點からの病見である）が隨分とあつて、熱心に婦人問題を研究して居る高野重三氏、生田長江氏、樋口龍峽氏、其他を洩してあるのは頗ぶる遺憾とする所である。博文館等でコウ云ふ企てをする以上は、啻れく根氣よく現在の日本で、婦人問題研究に熱心して居る人々を調べ、其の說は兎に角、研究は確かにして居ると云ふ人々のみを集めて貰ひたかつた。ソレからモウ一つ主筆浮田博士の文章中に『婦人問題及び運動は我國に於て 未だ一向眞面目に研究されて居ない』とあるのは浮田先生にも似合はぬ、早斷だと考へます、少くとも私共は眞面目に研究して居るつもりです。其外私の見た所でも、眞面目に研究して居る人が四五名あります。（三十錢、日本橋本町博文館）

▲大正之日本（第一號）　大日本青年黨の機關として、今回新に發刊されたもの青年の元氣潑溂たるものがあつて、洵に賴もしい。何んと云ふても若い人でないと私共の友ではない、恐ろしきは年齡の支配である。（十五錢、四谷阪町八〇其社）

▲佐和山主水（家庭新講談）　石田三成の次男 佐和山主水の 一生を述べたるもの、其の勇あり義ある物語の中に、可憐な戀物語もあつて、讀んで實に面白い。（二十五錢東京本郷區駒込坂下町四十八講談社）

▲オキシパサー　とは酸素治療器の事で、今や此の治療器が我國に於ても販賣されんとして居る。此の治療器を用ひて身體に多量に酸素を入れ、血液の循環を盛ならしめると、ドンな病氣でも療るそうです。病氣に惱める方々は、東京麴町區有樂町一の三日本オキシパサー商會へ申込で、說明書を取て御覽なさい。

婦人評論　第十一號　第十二號
修養世界
警　世
俳　味
正教時報
家庭之園藝　一號
江　湖
新市民
サンデー
世界の日本
學校と家庭
ときのこゑ
斯民家庭
新世紀
九　惡
窮民と賣淫との關係
淫婦の末路
雄　辯
普通作文速成講義
新佛教

向上
開拓者
大正婦人
大正婦女社會
六合雜誌
經世雜誌
近代思想
書畫骨董雜誌
世界雜誌
家庭畫報一號
青鞜
野の聲
家庭講話
婦女界
雪月花
新公論
相對

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

懸賞募集（十日〆切毎月）

■婦人に關する論文（二頁以内）　西川文子選

■小品文（半頁以内）　鳥林あぐり選

■口語詩（一人五首以内）　木村駒子選

■和歌（一人五首以内）　小口みち子選

■俳句（一人五句以内）　夏山茂子選

■子供の日記及び寫眞（五歳以下の子供）　編輯係選

■スケッチ畫　同

■カット

注意　カットは成るべく小さいもの。スケッチは二寸三寸位のもの、論文、經歷、小品文は用紙原稿紙。和歌、俳句は用紙ハガキ。

賞　使用せしカットは、三十錢づゝ、スケッチは五十錢づゝ△論文、△小品文、口語詩一等一圓、二等五十錢、三等三十錢△和歌、俳句一等五十錢、二等三十錢、三等本誌二册

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）		
一册	（郵税五厘）	拾錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意

●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず『盡』の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正貳年六月廿七日印刷納本
大正貳年七月一日發行

本郷區駒込林町二〇〇
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

本所區番場町四
印刷所　凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込林町二百番地
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京二四五五六

中央公論臨時増刊

婦人問題號

長大論文

◎近代文學に現はれたる婦人及び婦人問題……島村抱月
◎「新しき女」を論ず……永井柳太郎
◎露西亞の代表的婦人……中澤臨川
◎日本婦人の行くべき途……黒岩周六
◎新らしき女を何と觀る……三宅雪嶺
◎日本に於ける婦人問題……内田魯庵

△「淪落」の群に見る新らしい女……松崎天民
△歴史と文藝に現はれたる日本の女……笹川臨風
△經濟上より見たる婦人問題……松山忠二郎
△體質上より見たる婦人問題……富士川游
△女子大罵倒論……青柳有美

▲現代女子敎育の根本方針……諸家
▲平塚明子論……諸家
▲予の娘(孫娘)に對する希望……諸家
▲女子の獨立生計と共職業研究……諸家

△若き婦人に送る書……水野葉舟
△赤道直下の遊女……生田葵山
△ノラとマグダに就て……松井須磨子
△新眞婦人の三女史を評す……岩野清子
△青鞜社を評す……宮崎光子
△新橋藝者中の新らしい女……花月女將

創作

◎死　滅……田村俊子
◎百日紅の陰……尾島菊子
◎裏　面……國木田治子
◎題未定……松井須磨子
◎新らしい女と舊き女の對話……長谷川時雨
◎祇園會……但村はつ子
◎國の男……水野仙子

中央公論臨時増刊

◀七月十五日發行▲定價金五十錢▲東京本郷西片町　反省社發行▶

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本店 日本橋呉服町

堀江町支店 日本橋堀江町

本郷支店 本郷三丁目

赤坂支店 赤坂田町

株式會社 **東海銀行**

本所支店 本所龜澤町

京橋支店 京橋尾張町

三田支店 芝三田二丁目

淺草支店 淺草並木町

西川文子 木村駒子 宮崎光子合著

新らしき女の行く可き道

定價金五拾錢 送料金八錢

私共は新眞婦人會を起したが、其の目的の何れにあるかを御尋ねの方々に此の書の一讀を願ひます。私共は又婦人雄辯會を開きましたが、何んの必要ありてソンナことをするかとお尋ねの方々に、此の書の一讀を願ひます。更に又女の見たる社會觀、男子觀を知りたい方々に、歐米で喧ましい婦人運動が如何に日本婦人の頭に影響せんとしつゝあるかを知りたい方々に此書の一讀を希望します。

發行所 東京麹町二丁目二番地 **洛陽堂** 振替東京二〇九一四 電話番町四二五八

取次所 東京本郷駒込林町二〇〇 **新眞婦人社**

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

マックスオーレル氏著

島村抱月序
藤井白雲子譯

最新刊

若き男女へ

四六判洋裝
定價七十五錢
郵税八錢

観察の奇警取材の廣範行文の輕妙品位の高雅或は諷刺に或は解剖に婦人研究の權威者たるマ氏が半世の心血を濺る本書は歐米各國語に飜譯せられ數十版を重ね今や世界的愛讀書となれり――戀愛――結婚――家庭――吾人の情的並に私的生活の藝術的敎訓書として婦人問題解決の絶好指針として無限の興趣と實益とに滿されたる一大寶庫也敢て江湖に薦む

東京京橋南槇町　正文館　振替東京二一九五五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

醫學博士 北里柴三郎閱
醫學博士 柴山五郎作著

增訂

最近之 肺結核療法

第十三版

紙數二百餘頁 正價金壹圓貳拾錢 密封郵税八錢

肺結核は容易ならざる疾患なり然れ共初期に於て正當なる療法を加ふれば全く治癒す本書は此の正當なる療法を述べたるものにして特に第十三版に於ては『ツベルクリン』療法の勃興に伴ひ實地使用者の便に供せんが爲めに最も實地的懇切に書き改めたり醫家は本書によりて患者に示すべき方針を知り患者は本書に依て醫家の命令の理由を會得し二者相俟つて治癒の彼岸に達するを得ん

內容目次

◉衛生食餌療法◎營養療法◎食欲不振◎牛乳療法◎營養製品◎肉類及蛋白質製品◎脂肪製品◎飽食療法◎乳清及葡萄療法◎空氣療法◎強練法◎運動及橫臥法◎日光浴及空氣浴◎呼吸操法◎精神の使用◎患者の日課◎室內衛生◎轉地療法◎氣候療法◎海濱療養所◎航海◎內地療養所◎高山療養所◎療養所の條件◎醫の監督及病院療養◎療養の時日◎肺勞の衛生食餌的療法◎衛生食餌的結核療法の學說に對する試驗的追加◎結核療法に於ける氣候及海上旅行◎藥劑療法◉特異療法◎ツベルクリン數件◎結核血清療法◉理學的療法◉外科的療法◉對症療法◎熱◎盜汗◎咳嗽及咯痰◎咯血及血痰◎疼痛◎呼吸困難◎心臟衰弱◎不眠症◎消化障害◎貧血◎喉頭疾患◎諸他の注意◎比較的治癒に於ける注意

○ 肺結核療法 醫學士竹中成憲 價六十錢 郵税六錢

○ 社會教育 肺結核 豫防 通俗 療養法 北里博士 柴山博士 六十五錢 郵税四錢

發行所 東京神田鍛冶町 振替口座四七七二番 誠之堂書店

產科婦人科專門醫 楠田謙藏先生閱

第廿四版

普通 姙娠論(にんしんろん) 附り 妊婦の攝生

一名兒を儲くる法

本書は久しく產科婦人科に從事して經驗に富める專門醫渡邊先生の著にして生殖器の解剖、生理、衛生を始めとし生殖に影響する全身の疾病結婚並婚姻後の注意姙娠並姙娠後の攝生に至る迄廿三章百廿項を設け悉く網羅して平易簡明に說述し加之精巧なる石版圖畫數十葉を挿入し振假名を付せられたれば苟も自己の健康に注意し系統を播殖し**強健の子孫を得ん**と欲する諸君は男女を問はず必ず一讀せざる可らざる好著述なり一たび此書を繙かば多病なりし夫婦は壯健となり不和なりし閨門は圓熟し不姙なりし婦人は可憐の小兒を擧ぐることを得ん大方の諸君乞ふ世にありふれたる此種の著書と同一視することなく一讀其不幸を癒せらるべし

渡邊光次先生著 續篇 小兒養育法 石版密圖數葉挿入紙數二百五十頁◉懷中本正價六拾錢 密封郵送八錢

◉最新產婆學 楠田謙藏著 正價壹圓卅錢 郵税八錢

◉衛生講話 婦人の友 產科婦人科 渡邊光次著 正價五拾五錢 郵税八錢

◉普通 臨床看病法 醫士關氏著 正價三十錢 郵税四錢

◉通俗 花柳病豫防療法 密圖挿入 正價六十錢 郵税四錢

發行所 神田鍛冶町 振替口座四七七三 誠之堂書店

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『圓窓より』改題

著者さきに「圓窓より」一巻を公にするや、時の習風を紊亂するものとして不幸發賣禁止の禍に逢へり。今その忌避に觸れたる一篇「世の婦人達に」を割愛して再び之を公にす。蓋し記者の眞面目を窺ふべき唯一の書なり。

らいてう　平塚明子著

扃(とざし)ある窓(まど)にて

忽ち再版

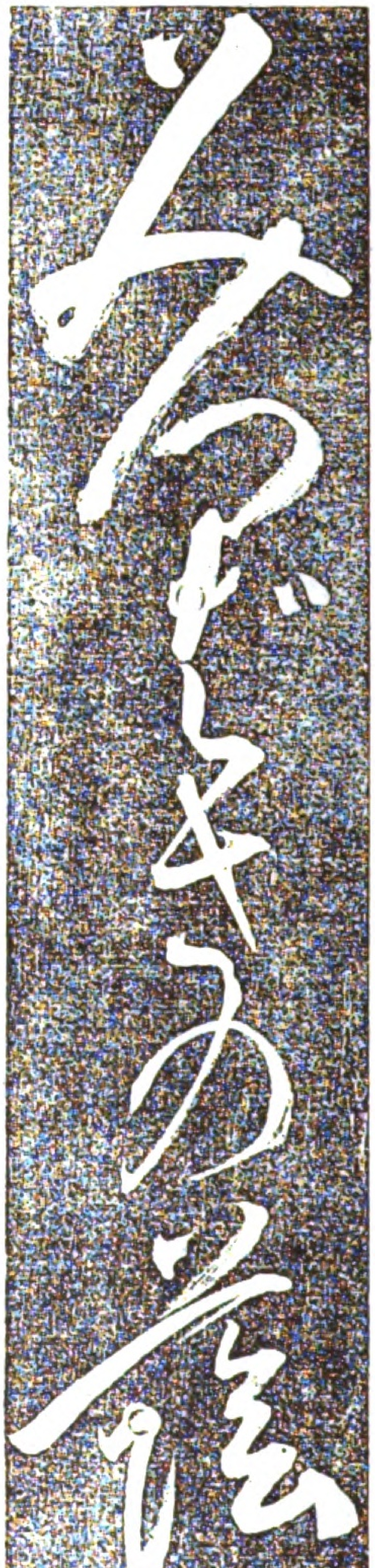
四六判三百五十頁
天金函入美本
定價金九十錢
送費金八錢

發行所　東京市日本橋區檜物町九（振替東京五六一四）　東雲堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病才媛が半生の哀史

座古愛子著——最新刊



四六判紙表紙
定價五十錢
郵税六錢

◎◎◎◎重なる目次

□聖書の力——□地獄とは何ぞや——□牧羊館主の感謝物語——□禁酒美談——□悔改美譚——□攝理——□死ぬるを思へ——□罪を犯す勿れ——□茶びしやく——□逝きし母鳥——□納骨——□眞砂集——□水莖集

著者生れて、薄命父を知らず、母を亡ひ、貧に逐はれて萍移蓬轉幾度か虎口を逃れて僅かに其節操を保ちしも、病膏盲に入りて起つこと能はず、妙齡の身を病蓐に呻吟すること數年。漸く基督教の慰安を受けて神を知り、靈界頓に光明を加ふに至り、指のみ動くを幸に病中に認めたる其半生の哀史は即ち是れ。

伏屋の曙

◎前編 定價四十錢
◎後編 定價五十錢
郵税各六錢

題は「影暗くいぶせき賤が伏屋にも恵の光照す曙」といふ自作の歌に取る。其文未だ世を驚かす値なしと雖も、亦流麗にしてイヤミなく、彫琢を加へざる處却て其眞を見る。

病紅葉、病子規、病兆民、病梁川、病樗牛、等に加ふるに今又斯の病才媛を以てす。天何ぞ才人に禍することのしかく多き。……萬朝報評

發兌 東京京橋銀座 警醒社書店 振替東京五五三番

寫眞應需

東京神田南神保町十

平山寫眞館

腦病精神病専門

東京田端

東京腦病院

電話下谷二二〇二番

院長 後藤省吾

醫學士 黑澤良臣

産婆看護婦派出

生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

電話芝八百六十四番

東京衛生團産婆看護婦部

部長 産婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

産婆部大崎支局

姙婦産婦 診察及懇切に預る

神田助産所

神田産婆看護婦會本部

東京市神田區裏猿樂町六番地

電話本局一五三七番

看護婦御入用ニ應ズ

看護婦及見習募集

最も人にきらはれる

わきが

の病に罹られたる御方又永年慢性わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まるゝ御方の爲めに不思議によくきく治療法を御知らせ致します御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します

東京神田區錦町三ノ三

中村喜三郎

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供の出來ない人に

年齡に依り姙娠と不姙娠の適確なる時機を知るは婦人に最も大切なり

婦人病を病む人と病まれる人の難義を救ふ何うして難義を救ふのか男女に限らず一度尋ねて御覧なさい此の事に就きましては私迄三代も研究して居ります御遠方の御方や御出の出來ない御方ははがきにて子供は何うすれば出來るのかと書いて御自身の宿所を明記し宛名は東京市本所區横網町二の十八横田友治として申込んで御覧なさい、さうすれば婦人病の治る事と子供の出來る譯を公益の爲めに無料にて詳しく御知らせ致します、此様な事を申たら御疑ひもありましようが、何せよはがき代ですから聞くは一時、聞かぬは末代迄の御損です當方では診療を致しません

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最新刊兒童叢書!!!

醫學博士 唐澤光德閱 醫學士 田結宗誠著

小兒の育てかた

定價金五拾錢 送料六錢

小兒に關する智識なくして小兒を養育するは極めて危險なる者なり殊に生存競爭の激烈なるに伴うて小兒の養育法に一層周到の注意を拂ふは親の子孫に對する義務にして又人類全般に對する義務なり强壯にして成効の人たらしむるも虛弱にして失敗の人たらしむるも一に小兒養育の心掛一つに在り本書は小兒科の泰斗唐澤博士指導の下に著者が多年實地敎育の經驗に基き實際に應用すべき育兒法を懇切に說述したる者にして一般家庭は勿論兒童敎育に從事する人の是非一讀を要す可き良書なり。

ムーレー博士著 高島平三郎閱 水野義三郎譯

一歲より廿一歲に至る 小供の生活

定價金五拾錢 送料六錢

小供が生涯の榮辱を親が小供に對する敎育奈何を以て其分岐點とす小供は敎ふべきか叱るべきか先づ此問題を解決するは親の義務にして責任なり小供を敎へ導くの方法は先づ子供は學ぶを以て確實とし正當とす即ち嬰兒呱々の聲を擧ぐるの初より歲月を追うて身心發育に順し行く狀態を精確に知得すれば之を保育する方法は自ら明瞭となる本書はムーレー博士が「一歲より廿一歲まで」と題する簡易兒童心理書を多年小學兒童の敎育に從事する水野君が譯に係るものにして譯文極て簡易懇切一般家庭及び兒童敎育者の參考書なり

發行所 東京麴町二丁目二番地 振替東京二〇九一四番 洛陽堂 電話番町 四二五八

御注文の際は必ず新眞婦人に依る旨御申添を乞ふ

最簡至便の婦人保護器は

婦人になくてならぬ外國みやげは

此レディース です

婦人は何事によらず受身であつて且弱いものであります殊に婦人の尤も苦しむのは確に持病といふ子宮病及び其原因で之が其豫防と治療法とはどなたも望む處であります

淋病黴毒の豫防。御婦人方は自分がいくら健康で全く清潔を守つて居つても受身であつて夫が梅毒とか淋疾とかを病んで居る時は自然自分も其病を受けて子孫に害を遺す事になりますから御婦人は寸時も此受身である事を忘れてはなりませぬと同時に洗滌を怠らぬ樣に。

子宮内膜炎は。淋毒、姙娠、産褥、手淫、月經時の不攝生に原因し初め粘液を漏らし下腹部に疼痛を起しヒステリー症となります。

子なき婦人。其原因は子宮病が又は酸性分泌液の爲に受胎を妨ぐるのでありますから此レディースで酸性分泌液を洗滌する事が肝要です但し逆に交接後に洗滌すると姙孕しませぬから御注意なさい。

こしけ、腟カタル。といふのは多く淋病の傳染や。不潔な交接。子宮内膜炎。悪性のはれもの。蟯虫。房事過度などが原因となり粘膜のはれ又は疼痛、悪寒、發熱、近小便、交接不能を起して遂に白色の粘液が出て貧血に陥るものです。

腟創傷。異物の挿入或は、手淫外傷亂暴な交接の爲に粘膜を傷害するより起ります。

以上の諸症は適當な方法に由て豫防し治療することが出來ます其方法は外でもありませぬ現今歐米で盛んに行はれ賞讃せられて居る簡便腟洗滌法であります。

皆樣も御承知の通り今迄の洗滌器は、かさばつて試に不便でありましたが此レイデースは圖の樣に簡單で且内部が誠に精巧でありますから自由自在、隨所で洗ひ且つ藥液を漏さす洗つた後も亦清淨に洗液を吸取ります。

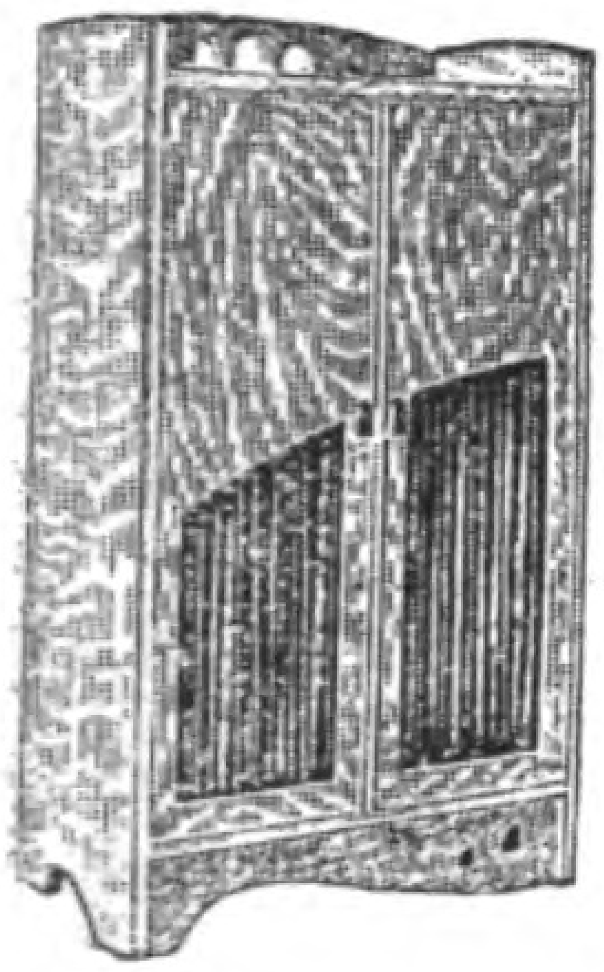
詳細の説明書は本誌購讀者に無料で送呈します。

特價 レディース 一具箱入 金三圓
同附屬具及藥品附一箱金四圓

當會社は資本金五拾萬圓の日本第一流の紳士によりて組織せられたる日本第一の製藥株式會社でありますから當社の製劑及器械には絶對的に御安心なさい

東京京橋區南傳馬町
電話京橋一八七五番
振替東京二〇五貳貳番

星製藥株式會社



御婦人向文房具

文房具にも亦御婦人向あり　伊東屋の階上には御婦人向文房具が澤山陳列有之候　御高覽お待受申上候

御婦人向文房具のうちに栂材に白ラックを施し優雅清洒を極めたる机と本箱と本置臺などあり殊に御高覽お待受申上候

机	高一尺貳寸	間口貳尺四寸	奥行一尺三寸	金五圓也
本箱	高二尺六寸	間口一尺五寸	奥行九寸	金九圓五十錢
本置臺	高一尺三寸	間口一尺四寸	奥行八寸	金三圓五十錢

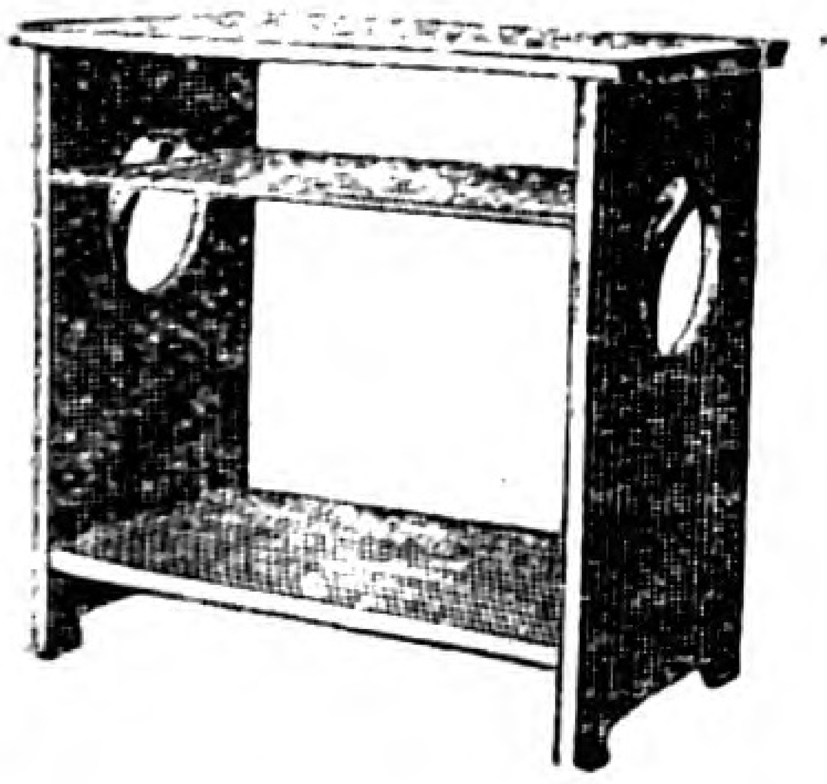
荷造費　机と本箱八十錢　本置臺三十錢

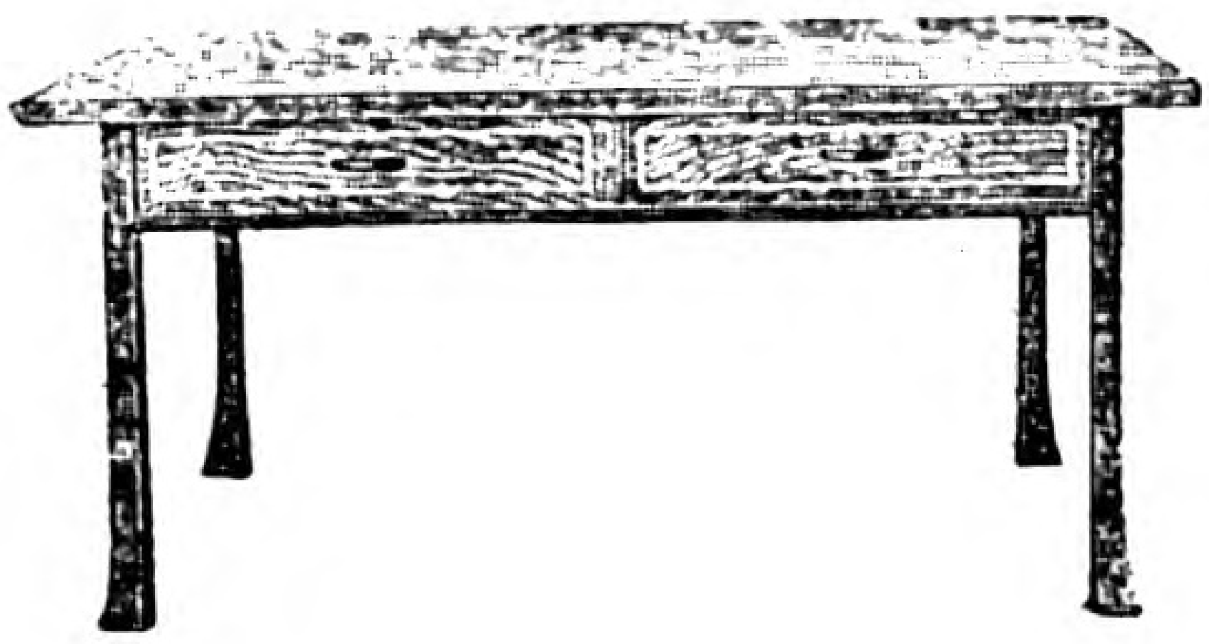
東京銀座

伊東屋

電話新橋　一三二九　一七九六

振替口座　五一一一





サンデー

處女研究號

「專門大學の專門的研究（各專門大家執筆）

▼生理學上より見たる處女▼心理學上より見たる處女▼精神病學上より見たる處女▼犯罪學上より見たる處女▼教育上より見たる處女▼宗教上より見たる處女▼解剖學上より見たる處女▼進化論上より見たる處女▼人類學上より見たる處女▼婦人科醫より見たる處女▼衛生上より見たる處女▼文學上より見たる處女

七月六日發行（第二百二十八號）

定價十五錢三ヶ月以上前金郵税不要

「妾の處女時代（各閨秀才媛數十名の感想告白）

▼與謝野晶子▼西川文子▼下田歌子▼尾島菊子▼岡田八千代子▼平塚明子▼長谷川しぐれ▼江木榮子▼岩野清子▼尾竹紅吉▼池田蕉園▼小林かつ子▼保持白雨▼鳩山春子▼下山京子▼山脇房子▼水野仙子▼棚橋絢子▼竹本綾之助▼竹本朝重▼田村俊子▼日向きん子其他十數名

◎其他社會各方面より觀たる處女の破瓜期時代を研究す

發行所 東京京橋區築地三ノ十五 サンデー社（電京二七三九番 振替二二九〇〇番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正二年六月二十五日印刷納本
大正二年七月一日發行（毎月一回一日發行）